

事業継続計画（BCP）

株式会社 B社

製造業（プラスチック部品製造業）

- 文書分類 社外秘扱い文書
- 発行日 2012年×月×日
- 改訂 バージョン 1.0

目次

0. はじめに

- 0.1 本計画の目的 1
- 0.2 企業概要 1

1. 基本方針

- 1.1 BCPの基本方針 2

2. 計画

- 2.1 対象災害の特定 2
- 2.2 中核事業の決定 4
- 2.3 中核事業の業務分類 4
- 2.4 影響度評価と目標復旧時間の設定 4
- 2.5 各業務に必要な経営資源の確認 5
- 2.6 各業務が受ける被害の想定とリスク評価 5
- 2.7 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)の検討 5

3. 実施及び運用

- 3.1 災害発生時の対応フロー 6
- 3.2 BCP対応体制表 6
- 3.3 初動(インシデント)対応手順書 8
- 3.4 BCP発動対応手順書 9
- 3.5 復旧活動手順書 9
- 3.6 財務計画 10

4. 教育・訓練

- 4.1 教育・訓練 10

5. 点検・是正・見直し

- 5.1 点検 10
- 5.2 是正 11
- 5.3 見直し 11

備考：関係資料

【様式	： 企業基本情報】	12
【様式	： 中核事業の絞り込み】	12
【様式	： 中核事業の業務分類】	13
【様式	： 影響度評価と目標復旧時間の設定】	16
【様式	： 各業務に必要な経営資源の確認】	17
【様式	： 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】	23
【様式	： 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】	29
【様式	： 緊急時資金繰り計画書】	35
【様式	： 教育・訓練計画書】	36
【様式	： BCP運用チェックリスト】	37
【様式	： 従業員連絡先リスト・安否確認チェックシート】	38
【様式	： 主要先取引リスト】	39
【様式	： 避難計画・避難経路図】	40
【様式	： 備蓄品リスト】	41
【様式	： 従業員携帯カード】	42
【様式	： 災害情報収集先一覧】	43
【手順書	： 災害発生時の対応フロー】	44
【手順書	： BCP対応体制】	45
【手順書	： 一次対応】	46
【手順書	： 初動対応「一次対応・二次災害の防止」】	47
【手順書	： 初動対応「社員の安否確認」】	48
【手順書	： 初動対応「被災状況の確認」】	49
【手順書	： 初動対応「社員の招集」】	50
【手順書	： BCP発動対応】	51
【手順書	： 復旧活動「顧客対応」】	54
【手順書	： 復旧活動「協力会社対応」】	55
【手順書	： 復旧活動「社員対応」】	56
【手順書	： 復旧活動「資材対応」】	57
【手順書	： 復旧活動「設備対応」】	58
【手順書	： 復旧活動「財務対応」】	59

0. はじめに

0.1 本計画の目的

当社における本計画作成の目的は、次の通りである。

- (1) 想定される災害が発生しても、被災を最小限にとどめるよう予めリスク回避、低減の対策を講じる。
- (2) 想定される災害が発生したとき、従業員の安全、人命の確保と負傷の回避を図る。
- (3) 万一被災しても、顧客への納入を維持し、取引先と継続できる信頼関係を構築する。
- (4) 万一被災しても、早期復旧を計画し社員の雇用確保が図れる仕組みを作る。
- (5) 万一被災し事業が中断しても、協力し合い事業を継続させる意識の高い企業体質を形成する。

0.2 企業概要

No.	項目	内容
1	会社名	株式会社 B社
2	住所	大分県Y市
3	業種	製造業(プラスチック部品製造)
4	売上高(年間)	××(千円)
5	従業員数	××名
6	設立年(西暦)	××××年
7	主な顧客の種類(業種等)	自動車部品製造業
8	主な設備(機械・装置等)	射出成形機、蒸着装置、塗装ロボット、溶着装置
9	事業の特徴	射出成形加工技術をコア技術とし、金型設計製作、塗装、蒸着、印刷、組立までの一貫生産ラインで自動車の基幹部品生産を行う。
10	想定災害の種類	震度6強の地震・津波・台風・洪水

0.3 組織図

(省略)

1. 基本方針

1.1 BCPの基本方針

当社は大災害被災時、事業の継続を図る仕組みを作ること、従業員の安全確保、雇用の維持、取引先との取引維持、顧客その他の信用・信頼の確保、合わせて経営安定の確保を目指す。

そのため、事業継続計画(狭義のBCP)の策定により、計画立案による不測の事態への備えと、不測の事態発生時の早期復旧への運用を規定する。さらに、BCMS(広義のBCP)の仕組みを作り、常に事業継続に対する意識が高い企業体質・企業文化の構築を目指す。

BCP : Business Continuity Plan (事業継続計画)

BCMS : Business Continuity Management System (事業継続マネジメントシステム)

2. 計画

2.1.1 対象災害の特定

当社の置かれた地理的リスク要因、過去の被災状況、今後可能性のある災害等を考慮し、当社の事業を継続する上で特に重要と思われる災害について検討した結果、当社の想定する災害は、以下の通りとする。(【様式 : 企業基本情報】を参照)

- (1) 震度6強程度の地震の発生、及び津波による被害
- (2) 台風による風水害、並びに河川の氾濫(洪水)による被害

2.1.2 対象被害の情報

当社が立地する場所において、対象としている災害の過去情報、発生した場合の想定被害は次のとおりである。

(1) 大分県の特徴

大分県の面積は6,337平方キロで全国22位、うち林野面積が7割、海岸線延長の長さは全国で13番目、おおまかに分けて周防灘沿岸・別府湾沿岸・南部のリアス式海岸の3つに分けられる。

河川の水量も豊富で水質のよさで名だたる川が多く緑と水に囲まれた、酸素も多くマイナスイオンの固まりのような土地である。

年間平均気温は全国でも高いほうだが夏場に高いというより、寒い日が少ない事による。

年間降水量は全国中位だが、火山帯が走り温泉は多いが地震や災害は少なく、住むのに理想的な土地である。

九州本土最高峰のくじゅう連山から亜熱帯植生が見られる日豊海岸まで含み、火山活動が創った変化に富んだ大分は県の面積の約3割が自然公園に指定されている。

(2) 過去の災害

地震

東南海、南海地震は、歴史的に100～150年間隔で繰り返し発生している。

今世紀前半にも発生のおそれが指摘されており、東海から九州にかけての広い範囲に、地震の揺れや津波による相当甚大な被害をもたらす恐れがあると考えられる。

この東南海・南海地震の発生確率は、今後30年以内に40%、さらに50年以内の発生確率は80%と予測される。

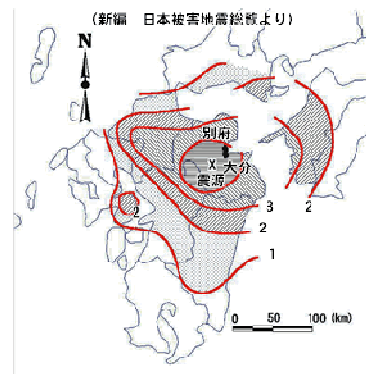
また、地震の規模については、東南海地震と南海地震が同時発生した場合、M8.5前後になると推定される。

大分県の地震災害記録

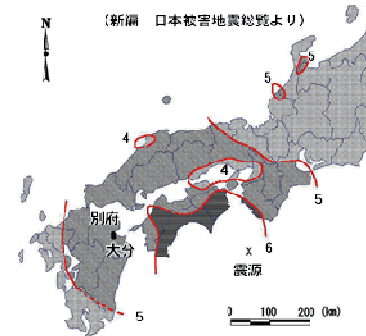
発生年	推定 マグニチュード	震源	地震による被害	
				年号
天正 8	1586	不明	別府湾?	大分川より東部の海浜数里が海中に流没
慶長元	1596	7	別府湾	津波による流失家屋数千戸、死者八百余人 瓜生島(沖ノ浜?)が水没 高崎山・由布等の山崩れ
慶長 2	1597	?	?	鶴見岳の噴火による山崩れか
元禄 11	1698	6.0	野津原付近	大分城の石垣壁が破損
元禄 16	1703	6.5	安心院付近	由布院などで山崩れや地割れ 家屋の倒壊・破損数百軒 死者1人
宝永 4	1707	8.4	駿河湾 「宝永地震」か?	流失 13戸 罹壊96戸
享保 8	1723~1724	6.5	福岡南部	家屋倒壊
明和 6	1769	7.3/4	日向灘北部	家屋の倒壊・破損数百件
安政元	1854	8.4	東海沖 「安政東海地震」	死者18人、家屋倒壊4,600戸、半壊1,100戸
安政元	1854	8.4	南海道沖 「安政南海地震」	(上の東海地震の被害と区別できない)
安政元	1854	7.3~7.5	伊予西方の 豊後水道	鶴崎で家屋倒壊数百戸
安政 2	1855	不明	不明	杵築城破損
安政 2	1855	不明	不明	立石で家屋倒壊
安政 4	1857	7.1/4	伊予灘北方の 瀬戸内海	鶴崎で家屋倒壊数百戸
明治 32	1899	6.9	日向灘	鶴崎・杵築、犬飼などで土蔵や家屋の破損
昭和 16	1941	7.2	日向灘	多少の被害
昭和 21	1946	8.0	南海道沖 「南海地震」	死者4人、傷者10人、住家の全・半壊127戸 非住家の全・半壊39戸、道路橋梁の損壊9ヶ所
昭和 50	1975	6.4	大分県中部	傷者22人、住家の全・半壊151戸、非住家の 全・半壊104戸、道路橋梁の損壊185ヶ所

※「新編 日本被害地震総覧」、「大分県災害誌」をもとに作成。
陸域ないし沿岸海域で発生した地震

大分県中部地震の震度分布



安政南海地震の震度分布



地震による津波(大分県津波浸水予測等調査結果説明資料より)

東南海、南海地震は海溝型地震であり、大きな津波被害を生じる恐れがある。

そのため、大分県は、今後の津波防災対策の検討などに活用するため、東南海・南海地震における津波浸水予測調査を実施した。東南海地震と南海地震が、同時に発生した場合の大分県への津波の影響について検討を行い、大分県沿岸部の浸水域を予測。(東南海・南海地震の震源域等は国の中央防災会議「東南海・南海地震等に関する専門調査会」で想定したもの。)

(1) 地形データ

「専門調査会」作成の地形データをもとにして、各種資料で補完し、より詳細なメッシュデータを作成。

(2) 堤防データ

国土交通省河川局海岸室所有データ、および県の「海岸保全施設一覧表」をもとにデータ化。

(3) 計算条件

計算時間は地震発生から10時間とし、計算時間間隔は、0.2秒とする。

初期潮位は満潮位を与えるものとする。「平成14年度気象庁潮位表」より、推定潮位の年間最高値を基に設定するものとし、設定満潮位4ケースを初期値とした津波遡上計算を実施し、計算結果をそれぞれの対象区域に適用した。

大分県沿岸主要地点	満潮位参照地点	設定満潮位
市()~ 市		1.69



(4) Y市の波高分布および浸水区域

計算結果をもとに、各地点の最高水位を求め、海上の津波波高の分布と陸上の浸水域の最大水位を求めた。これらのデータをもとに、主な地点の津波伝搬時間と最大波高を整理し、図化した。

地点名	押し波到着時間	20センチ波高到着時間	最大波高 (TP.m)
Y市 港	2時間16分	3時間16分	2.08
	1時間50分	2時間52分	2.22
	1時間38分	2時間40分	2.33

- ・押し波到着時間:引き波から水位上昇に転じた時間
- ・20cm波高到達時間:計算開始(設定満潮位)から+20cm水位上昇までに要した時間
- ・データは堤防有りの計算結果により算出

(3)、(4)については、本市該当箇所のみ掲載

公開情報では被災の可能性は低いが、東日本大震災の例に鑑み、当社では試算以上の大きな津波を想定して計画に加えるものとする

2.2 中核事業の特定

当社では、事業継続のため、仮復旧活動を最優先する事を対象とした中核事業の選定に際し、その選定要素として、業務(工程)毎の売上貢献度と主要取引先維持の2点を掲げる。その結果、業務(工程)毎の売上シェアは平均しており、また各事業にて主要取引先の製品を生産している為、全体を中核事業として位置づける。中核事業を構成する業務は以下(1)~(6)である。
(【様式 :中核事業の絞り込み】を参照)

- (1) 受注工程
- (2) 射出成形工程
- (3) 蒸着工程
- (4) 組立工程
- (5) 塗装工程
- (6) 出荷工程

その中で復旧活動を最優先する業務(工程)は「射出成形工程」とし、想定した災害による不測事態発生に関わる業務中断が発生した場合、「射出成形工程」の復旧に全ての経営資源を集中した対応を図る。

2.3 中核事業の業務分類

2.3.1 中核事業の業務プロセスの確認

当社では、想定した災害による不測事態に関わる業務の中断が発生した場合、中核事業の復旧を行う為、同事業の業務プロセスの抽出を行うとともに、各活動(アクティビティ)単位の経営資源構成要素を洗い出し、中核事業復旧に関わる要因分析を行った。

(【様式 :中核事業の業務分類】を参照)

2.4 影響度評価と目標復旧時間の設定

2.4.1 各業務の業務中断の影響度評価

【様式 :影響度評価と目標復旧時間の設定】により、各業務中断の影響度を「業務中断時間」、「金銭的な影響」、「取引先への影響」の項目で評価を実施した。

2.4.2 各業務の業務ごとの目標復旧時間の設定

【様式：影響度評価と目標復旧時間の設定】により、各業務中断の影響度を評価した結果、特に重要な業務における目標復旧時間を、以下の内容で設定した。

- (1) 受注工程：5日
- (2) 射出成形工程：3日
- (3) 蒸着工程：3日
- (4) 組立工程：3日
- (5) 塗装工程：3日
- (6) 出荷工程：3日

各業務の目標復旧時間を考慮し、全体の復旧目標時間を3日と設定する。

なお、当該事業の目標復旧レベルは、通常生産レベルの80%とする。

2.5 各業務に必要な経営資源の確認

【様式：各業務に必要な経営資源の確認】により、各事業毎に必要な経営資源を確認した。主な経営資源は以下に設定し、各資源後の項目と、その内容(具体的なレベル)を確認した。

人

機械装置・設備

IT・データ

通信

外注・サプライヤー

インフラ・その他

確認の結果は【様式：各業務に必要な経営資源の確認】を対象業務毎に参照のこと。

2.6 各業務が受ける被害の想定とリスク評価

【様式：各業務が受ける被害の想定とリスク評価】により、各事業毎に当社の想定する対象災害について、経営資源ごとに、事業継続に影響が大きいと想定される被害を抽出し具体的にまとめた。

また、抽出した想定被害が経営資源に与える影響度、脆弱性、リスクレベルを評価しまとめた。

評価結果は【様式：各業務が受ける被害の想定とリスク評価】を対象業務毎に参照のこと。

2.7 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)の検討

【様式：各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】により、各事業毎に当社の想定する対象災害について経営資源ごとにリスク対策の検討を行った。

対策は事前対応と緊急時の対応に分けて行い、対策内容、所要時間、費用について検討結果をまとめた。

検討結果は【様式：各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】を対象業務毎に参照のこと。

3. 実施及び運用

3.1 災害発生時の対応フロー

本対応フローに関わる用語を以下に定義する

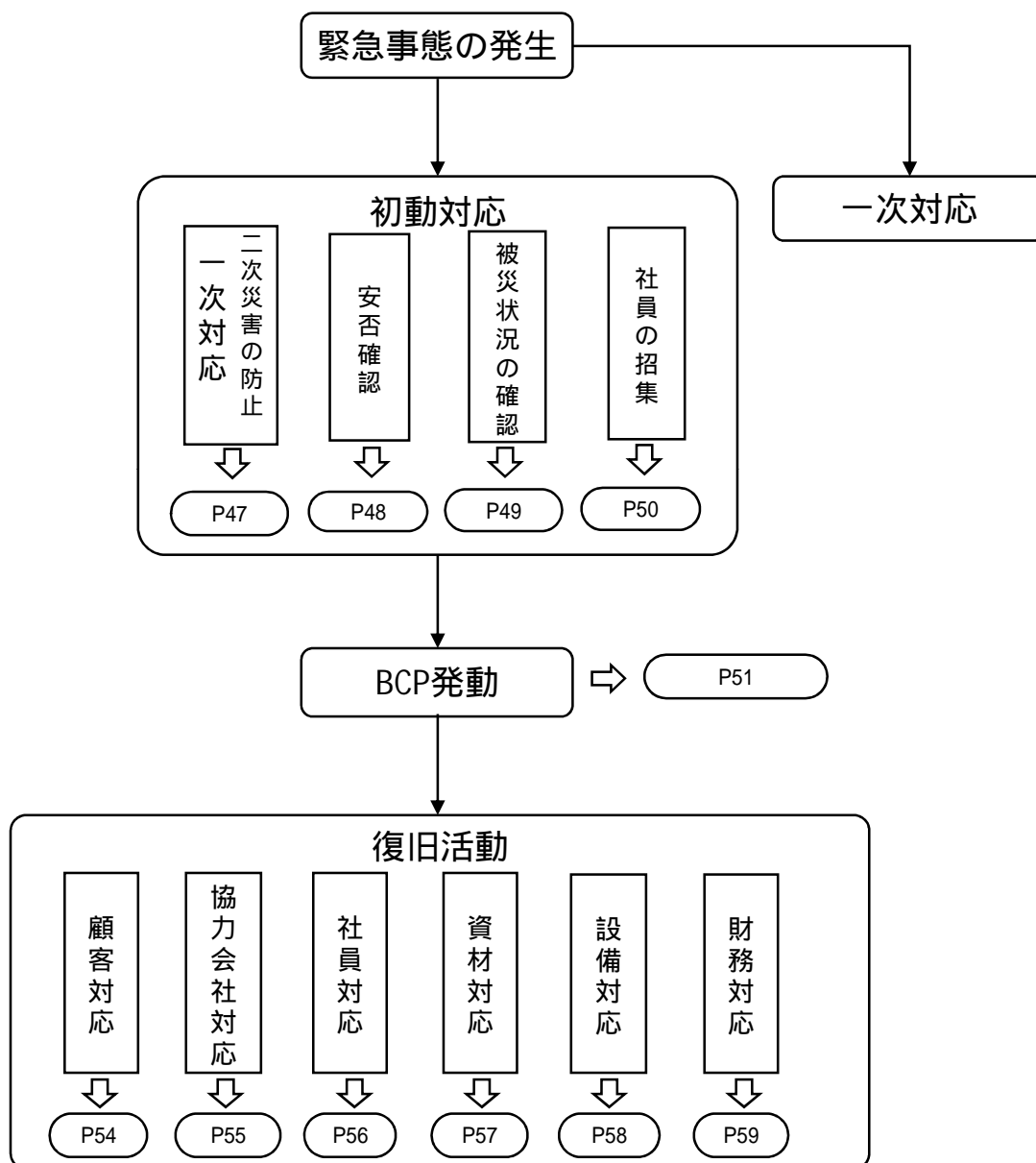
緊急事態： 災害の発生、被災により事業が中断する事をいう

一次対応： 台風や、地震の災害発生情報をメディアから入手し、事前の対応をいう

初動対応： 被災した場合の事業継続への影響度、リスクを最小限に抑える為の対応をいう

BCP発動： 初動対応状況を踏まえ、復旧に関する情報を整理し、復旧活動開始の号令を発する

復旧活動： 中断した事業を、目標復旧時間内に復旧させる為の諸活動をいう



3.2 BCP対応体制表

当社のBCP対応体制と指揮命令系統は、以下のとおりである。

BCP構築プロジェクト

役職名	氏名	所属	主な担当業務
プロジェクトオーナー			BCP構築における総括
プロジェクトリーダー			BCP構築におけるマニュアル作成
プロジェクトメンバー			BCP構築におけるマニュアル作成
プロジェクトメンバー			BCP構築におけるマニュアル作成

BCP平時運用体制

役職名	氏名	所属	主な担当業務
BCP管理担当			BCP運用における監視
教育訓練担当			BCP運用における教育訓練の実施
予防対策担当			BCP運用における予防対策の実施
演習担当			BCP運用における演習計画・実施

緊急時対策本部

役職名	氏名	所属	主な担当業務
対策本部長			初動対応状況を把握し、BCP発動基準に順じBCP発動を判断する
本部長			初動対応の状況を取り纏め、本部長へ報告する
本部長			初動対応の状況を取り纏め、本部長へ報告する
本部長			初動対応の状況を取り纏め、本部長へ報告する
初動対応グループ			被災状況を調査・把握し本部へ報告する
二次災害防止班			2次災害を防止する為の行動を行う
社員安否確認			就業時被災の場合、従業員の安否を確認する
被災状況確認			生産設備、資材等の被災状況を把握する
社員招集			BCP発動時、復旧に向けて社員を招集する
復旧活動グループ			BCP発動時、設備復旧に向けて活動する
顧客対応班			被災状況、復旧目標時間を顧客へ報告し、取引継続の交渉を行う
協力会社対応班			協力会社の被災状況を調査・取りまとめし本部へ報告する
社員対応班			被災時の社員の安全確保の為の活動を行う
資材対応班			被災時の生産確保、復旧へ向けて資材確保の活動を行う
設備対応班			被災時の設備補修、復旧に向けての設備確保の活動を行う
財務対応班			被災時の復旧に向けての財務確保を行う

(1) 当社では、想定した災害による不測事態発生に関わる業務の中断が発生した場合、社長(代理:工場長)の判断により、ただちにBCP対応体制を編成する。上記のBCP平時運用体制から緊急時対策本部の命令系統に切り替える。

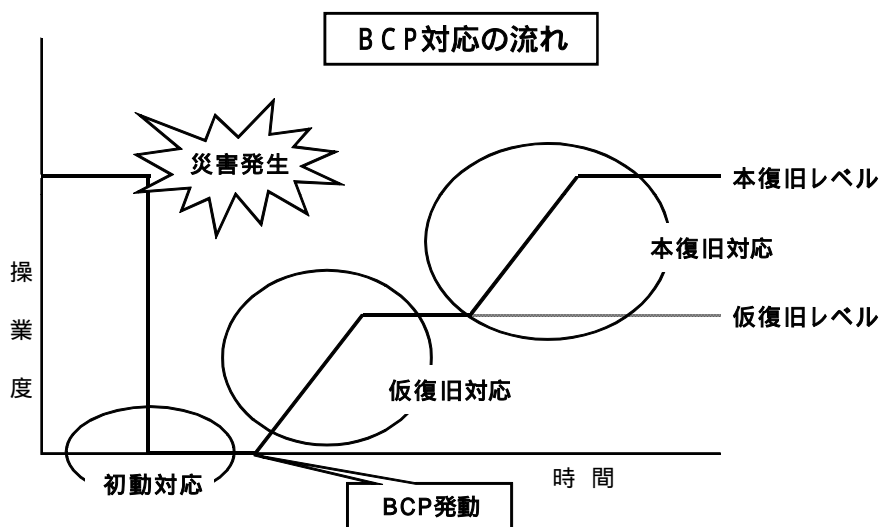
(2) BCP対応体制のBCP対策本部長は、社長とする。ただし、社長不在の場合は工場長が代行する。

(3) BCP本部長をサポートする全社情報管理を、 部にて行う。

(4) 初動対応においては、初動対応グループ、二次災害防止班、社員安否確認、被災状況確認に分けて行動する。

(5) 復旧活動においては、社員招集、復旧活動グループ、顧客対応班、協力会社対応班、社員対応班、資材対応班、設備対応班、財務対応班にそれぞれ分けて行動する。

(6) 従業員は、BCP対応体制の編成に従い、各業務を遂行する。



3.3 初動(インシデント)対応手順書

想定した災害が発生した場合、一次対応を行い、緊急に社内の被災状況を調査する。同時に2次災害の防止、事業継続のため以下の内容で、初動対応を図る。

(1) BCP本部長により、初動対応が発令される。

(2) 初動対応は、避難、初期防災活動及び被害状況の把握を主な目的とする。

(3) 避難は、BCP本部長の非難命令の発動により、【様式 : 避難計画・避難経路図】に基づいて、所定の避難場所に、所定の避難経路を参考に実施する。

(4) 初期防災活動は、自社の防災計画(自衛消防組織)に従い、人命救助、負傷者の治療、従業員、その他家族の安否確認、二次災害の防止などを行う。

(5) 被災状況の把握は、本部長(役員職)の指示に従い、人的被害・建物・設備等の物的被害、通信システム、ライフライン等について正確に把握する。

(6) 全社情報管理を行う 部では、県内、Y市内、その他マスコミ等の情報収集を行う。

(7) 状況に応じて、地域の被災住民の支援など地域への支援活動も検討する。

初動対応の詳細については、

- 【手順書 初動対応「一次対応・二次災害の防止」】
- 【手順書 初動対応「社員の安否確認」】
- 【手順書 初動対応「被災状況の確認」】
- 【手順書 初動対応「社員の招集」】 を参照する。

一次対応：当社においては初動対応の他に、インターネット、テレビ等で地震、台風、ゲリラ豪雨の予報の情報を入手した場合の対応として【手順書：一次対応】を設定する。

3.4 BCP発動対応手順書

BCPの発動は、BCP対策本部長から、以下の期順により判断し、宣言を行う。

- (1) 初動対応の避難が概ね終了し、復旧活動への人員が確保できる状況となっているか
- (2) 初動活動の、初期防災活動における、人命救助、負傷者の治療、従業員・その他の家族の安否確認、二次災害の防止などが進み、復旧活動への展開が可能な状況であるかどうか
- (3) 初期活動における、人的被害、建物・設備等の物的被害、通信システム、ライフライン等について、被害状況の把握が進み、復旧活動への展開は可能かどうか
- (4) 仕入先、納品先等の事業活動、公共インフラの回復等、事業再開に向けた社外の環境はどうか
- (5) 当社の中核事業において、事業継続の対応策に基づいて、復旧活動が推進できる状況が整ってきているか

初動対応の詳細については、【手順書 -1、 -2、 -3 BCP発動対応】を参照する。

3.5 復旧活動手順書

3.5.1 仮復旧活動

BCP発動により、中断した中核事業の目標復旧時間内の業務再開を目指す。当社の中核事業は全工程であり、仮復旧活動は以下のとおりである。

- (1) 中核事業の目標復旧時間は3日とする。また復旧のレベルは80%程度とする。
- (2) BCP対策本部長は、当社のBCP体制表に従い、直ちに全社管理室の情報に基づいた仮復旧行動計画書の作成を取りまとめる。
- (3) 仮復旧行動計画に基づき、各班は以下の対応を実施する。
 - ・顧客対応班は【手順書 復旧活動「顧客対応」】に順じ、顧客への被害状況の内容を伝えるとともに、復旧の見込みについて説明を行う。
 - ・協力会社対応班は、【手順書 復旧活動「協力会社対応」】に順じ、今後の納品等について説明を求め、必要に応じて一時的に他社への代替生産等の調整を行う。
 - ・社員対応班は、【手順書 復旧活動「社員対応」】に順じ、従業員の安否確認や被災状況を共有するとともに、当社の事業継続活動の方針を説明する。
 - ・資材対応班は、【手順書 復旧活動「資材対応」】に順じ、通常ルートの調達が困難な場合は、代替ルートの調整等を行い、資材の確保を行う。
 - ・設備対応班は、【手順書 復旧活動「設備対応」】に順じ、建屋、設備の被害状況の復旧、インフラの早期復旧の調整等を行う。
 - ・財務対応班は、【手順書 復旧活動「財務対応」】に順じ、当面必要な運転資金の確保を行う。

3.5.2 本復旧活動

複数の業務が中断している場合、BCP対策本部は状況を判断し、復旧優先の順位を立てるが最優先は、成形工程としその他の工程について順位を立てるものとする。

- (1) 通常業務レベルへの目標復旧時間は30日とする。
- (2) BCP対策本部長は、当社のBCP対応体制表(状況に応じて本復旧への再編成を行う)に従い、直ちに全社管理室の情報に基づいた本復旧行動計画書の作成を取りまとめる。
- (3) 本復旧行動計画に基づき、各班は本復旧活動を行う。手順については、仮復旧活動の手順に準拠する。

3.6 財務計画

財務管理班は、BCP対応に関わる財務計画を、【様式：緊急時資金繰り計画表】に従い作成する。検討すべき内容は次のとおりである。

- ・被災に関わる復旧費用の積算
- ・業務中断期間の損失(営業利益減)の積算
- ・手持ち資金の積算
- ・資金調達の是非の確認
- ・資金調達先の検討

BCP対策本部長は、この緊急時資金繰り計画表を確認し、実行の判断を行なう。

4. 教育・訓練

4.1 教育・訓練計画

当社では、BCPへの意識定着を図るため【様式：教育・訓練計画書】に従い、教育・訓練を行う。

- (1) 教育については、毎年2回実施する。
 - ・毎年××月、一般従業員を対象に、防災・BCP意識向上を目的とした教育を行う。
 - ・毎年××月、管理監督者を対象に、BCP運用管理を目的とした教育を行う。
- (2) 訓練については、毎年1回実施する。
 - ・毎年××月に、全従業員を対象に、台風による風災害を想定した訓練を行う。

5. 点検・是正・見直し

5.1 点検

当社では、課長の指示の下、各部門長が【様式：BCP運用チェックリスト】に従い、年に1回(××月)点検を行う。

各部門長は、定められた期日以内に、課長宛にBCP運用チェックリストの提出を行う。
課長は、定められた期日以内に、各部門のBCP運用チェックリストのとりまとめを行う。

5.2 是正

当社では、教育・訓練の活動状況及びBCP運用チェックリストの内容を精査し、不具合事項について改善、修正及び追加の是正案を立案する。

この是正案に基づいて、年に1度(××月)、BCP会議を開催し、BCPに関わる教育・訓練の活動及びBCP運用チェックリストによる点検結果を確認し、状況に応じた是正処置等に関する協議を行い、是正案を取りまとめる。

5.3 見直し

役員は、BCP会議において取りまとめた是正案に基づいて、年に1度(××月)見直し会議を実施する。

役員は、この会議の結果を基に、必要に応じて、予算計画を含めたBCP計画全体の見直しを行なう。

【様式 : 企業基本情報】

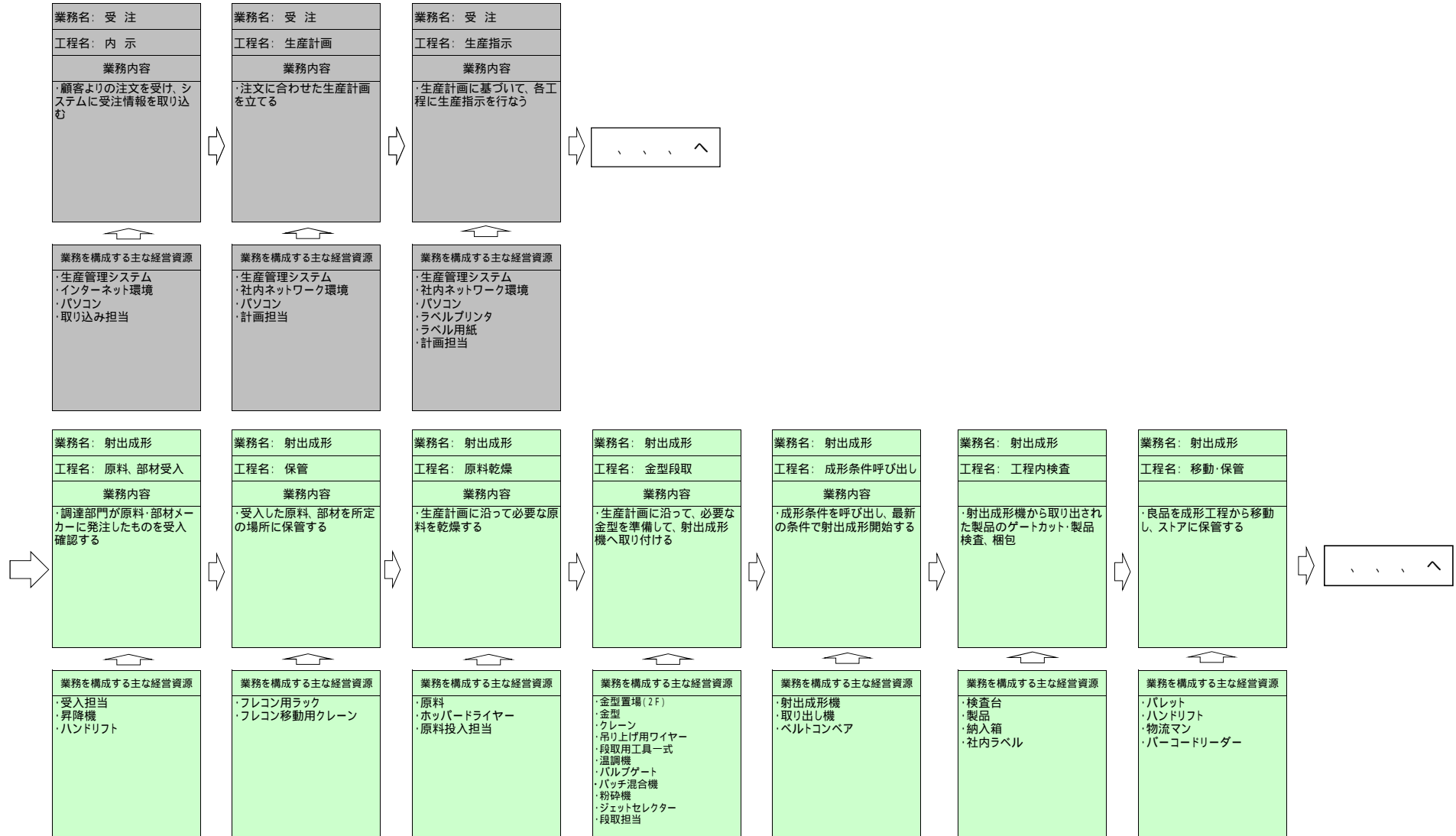
No.	項目	内容
1	会社名	株式会社 B社
2	住所	大分県Y市
3	業種	製造業(プラスチック部品製造)
4	売上高(年間)	××(千円)
5	従業員数	××名
6	設立年(西暦)	××××年
7	主な顧客の種類(業種等)	自動車部品製造業
8	主な設備(機械・装置等)	射出成形機、蒸着装置、塗装ロボット、溶着装置
9	事業の特徴	射出成形加工技術をコア技術とし、金型設計製作、塗装、蒸着、印刷、組立までの一貫生産ラインで自動車の基幹部品生産を行う
10	想定災害の種類	地震・津波・台風・洪水

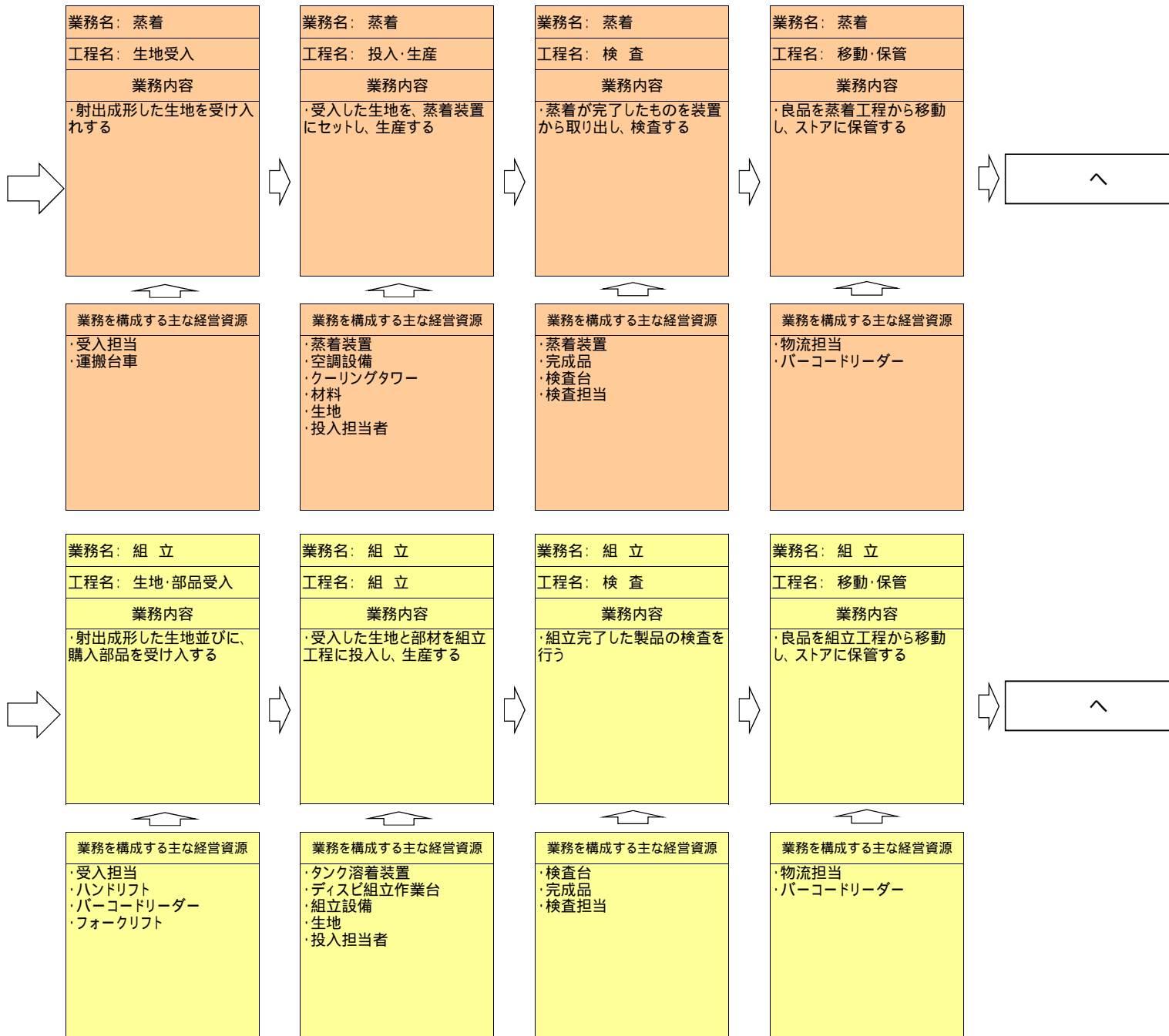
【様式 : 中核事業の絞り込み】

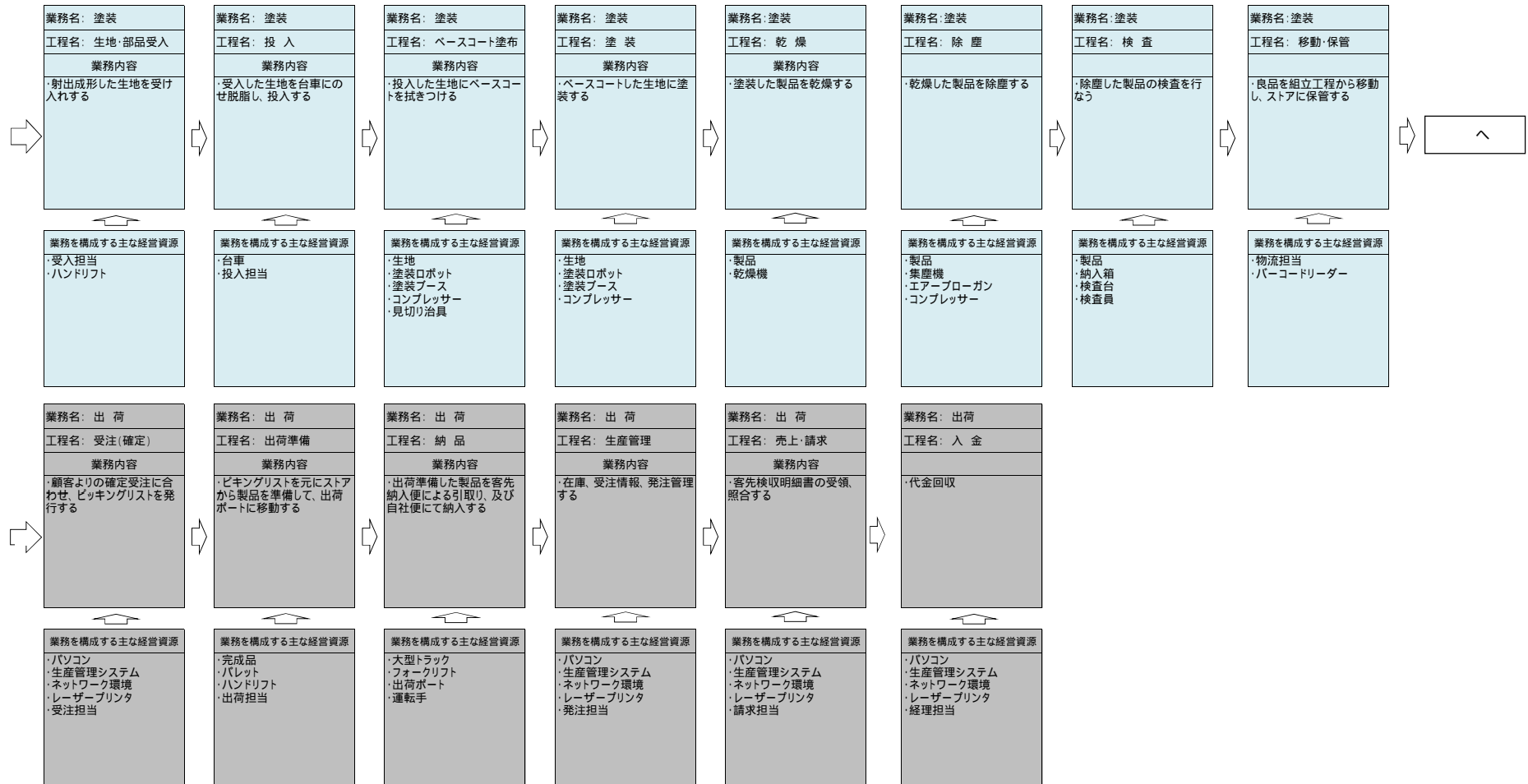
No.	項目	内容				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1	商品・サービスの種類(事業)	組立	射出成形	蒸着	塗装	
2	同上ごとの売上シェア(%)	××%	××%	××%	××%	%
3	優先度理由	売上比率は順位があるが、各工程主要取引先の製品を生産しており順位がつけられない為、事業全体を対象とする				
4	対象事業(範囲)の特定					

: 中核事業の中でも特に重要な工程と位置づける
 : 本活動の中核事業として位置づける

【様式 : 中核事業の業務分類】







【様式 : 影響度評価と目標復旧時間の設定】

中核事業名 [全般]

全体目標は3日

業務名	業務中断時間	金銭的な影響	取引先への影響	目標復旧時間	目標復旧時間決定の理由
受注	1日未満	小	小	5日	受注データは生産管理システム内に内示情報で保存されており、確定情報も平均××日先まで保存されている。担当は××人しかいないが、他工場に同システムがある為、要員確保できれば受注情報の取り込みは可能。電力を必要とする為、電力復旧がカギ。 電力復旧を前提とする。
	1~3日	小	小		
	4~7日	中	中		
	8日~1ヶ月	大	大		
	2ヶ月目~3ヶ月	大	大		
	4ヶ月~	大	大		
射出成形	1日未満	小	小	3日	射出成形は、製造工程の最初のプロセスとなる為、いち早く復旧しないと、後工程への供給が出来ない。成形機は電力、水道水が必要な為ライフラインの早期復旧がカギとなる。機械メーカーの拠点は分かれており 県等
	1~3日	中	中		
	4~7日	大	大		
	8日~1ヶ月	大	大		
	2ヶ月目~3ヶ月	大	大		
	4ヶ月~	大	大		
蒸着	1日未満	小	小	3日	専用設備が殆どで、予備設備は無く早期修理が必要。設備メーカーの拠点は 県である。電力、水道水が必要な為ライフラインの早期復旧がカギとなる。機械メーカーの拠点は 県である。
	1~3日	中	中		
	4~7日	大	大		
	8日~1ヶ月	大	大		
	2ヶ月目~3ヶ月	大	大		
	4ヶ月~	大	大		
組立	1日未満	小	小	3日	専用設備が殆どで、予備設備は無く早期修理が必要。機械メーカーの拠点は 県である。人手の作業となる為、要員確保が必要。
	1~3日	中	中		
	4~7日	大	大		
	8日~1ヶ月	大	大		
	2ヶ月目~3ヶ月	大	大		
	4ヶ月~	大	大		
塗装	1日未満	小	小	3日	ロボットによる吹き付け作業の為、代替は無く早期修理が必要。コンプレッサーに電力を使用、またブースに水道水が必要な為ライフラインの復旧がカギとなる。
	1~3日	中	中		
	4~7日	大	大		
	8日~1ヶ月	大	大		
	2ヶ月目~3ヶ月	大	大		
	4ヶ月~	大	大		
出荷	1日未満	小	小	3日	担当は××人しかいないが、他工場に同システムがある為、要員確保できれば受注情報の取り込み並びに納品伝票の発行は可能。電力を必要とする為、電力復旧がカギ。
	1~3日	小	中		
	4~7日	中	大		
	8日~1ヶ月	大	大		
	2ヶ月目~3ヶ月	大	大		
	4ヶ月~	大	大		

大・中・小 大・中・小
無で記入 無で記入

【凡例】

影響度小: 事業への影響は多少あり
 影響度中: 事業への影響は深刻な状態
 影響度大: 事業への影響は極めて重大

【様式 : 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[受注]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	受注担当者	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	調達担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
機械装置・設備	建屋(塗装工場 事務所)	
	生産管理システム	他工場に同システム有。人的資源あれば代替使用できる。無停電装置設置している。
	パソコン	デスクトップタイプ××台。代替機有。無停電装置設置している。
	ネットワークシステム	有線式、無線式双方有。復旧への難易度は低い。無停電装置設置している。
	レーザープリンタ	××台有。代替機なし。
IT・データ	生産管理システムデータ	他工場に同システム有。人的資源あれば代替使用できる。
	サーバー	専用サーバ設置。バックアップシステムは外部HDD有。代替サーバによる復旧は××日で可能。サービス対応は 市内メーカー。
通信	ネットワークシステム	有線式、無線式双方有。復旧への難易度は低い。
	FAX	××台有。復旧はNTT任せ。本体故障時のサービス対応は 市内メーカー。
	固定電話	ビジネス電話。復旧はNTT任せ。本体故障時のサービス対応は 市内メーカー。
	携帯電話	会社契約携帯(ドコモ) ××本有。
外注・サプライヤー	原材料	調達担当が発注し、在庫確認する。××社有り。
	部材	調達担当が発注し、在庫確認する。××社有。原則××日分の社内在庫を確保。
	仕入れ部品	協力会社よりの部品を仕入する。協力会社××社あり。
インフラ・その他	電力	電力は、全ての要であり停電の際は全ての装置が中断する。代替設備はなし。

【様式 : 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[射出成形]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	材料受入担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	段取担当	××人 操作マニュアル有り。
	スキル	実務経験××年以上
	検査担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	物流担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	金型メンテナンス	××人
	スキル	××年以上
	保全担当	××人
	スキル	実務経験××年以上
機械装置・設備	建屋(成形工場)	××年建設(平成××年改正基準を満足している)
	金型置場(中二階)	××年建設(材料置場の加重××トン/㎡、金型置場の加重××トン/㎡)
	金型	各製品1型のみで代替なし。復旧難易度は高い。
	昇降機	材料を中2階へ上げるために使用。耐震信頼性が薄い。復旧難易度高い。
	クレーン(吊り上げワイヤー)	××台設置。年次点検実施し、故障予防している。復旧難易度は高い。
	段取工具一式	段取者各自××セット所持。代替あり。
	温度調節機	汎用機。成形時の金型消音、冷却に使用。代替機有り。復旧難易度は低い。
	バルブゲート	汎用機。成形品仕様に限定され使用する。復旧難易度は低い。
	パッチ混合機	汎用機。主剤、パッチ剤を混合する。代替有り。復旧難易度は低い。
	粉碎機	汎用機。生産に直接影響は無い。復旧難易度は低い。
	ジェットセレクター	汎用機。生産に直接影響は無い。復旧難易度は低い。
	射出成形機	日常・月次点検、年次点検制度にて点検実施。故障時は各メーカーサービスへ依頼。
	取り出し機	日常・月次点検、年次点検制度にて点検実施。故障時は各メーカーサービスへ依頼。
	ベルトコンベア	汎用機。代替は無く復旧までは手動で対応可能な製品もある。
	検査台	汎用機(手づくり)。材料予備あれば製作可能。復旧難易度低い。
	ハンドリフト	汎用機。直接生産に影響はなし。代替購入は××日で可能。
バーコードリーダー	汎用機。××台設置。代替購入する際××万/1台かかり、××万。	
IT・データ	生産管理システムデータ	他工場に同システム有。人的資源あれば代替使用できる。
	サーバー	専用サーバ設置。バックアップシステムは外部HDD有。代替サーバによる復旧は××日で可能。サービス対応は 市内メーカー。
通信	ネットワークシステム	有線式、無線式双方有。復旧への難易度は低い。
	電話	ビジネス電話。復旧はNTT任せ。本体故障時のサービス対応は 市内メーカー。
	携帯電話	会社契約携帯(ドコモ) ××本有。
外注・サプライヤー	原材料	調達担当が発注し、在庫確認する。××社有り。
	部材	調達担当が発注し、在庫確認する。××社有。原則××日分の社内在庫を確保。
	仕入れ部品	協力会社よりの部品を仕入する。協力会社××社あり。
インフラ・その他	電力	電力は、全ての要であり停電の際は全ての装置が中断する。代替設備はなし。
	水	公共水道を利用。断水の際は金型冷却ができない為要となり、災害時は全て中断する。
	ガス	ガスボンベ使用。生産に直接影響はなし。

【様式 : 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[蒸着]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	生地、部材受入担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	投入担当	××人
	スキル	実務経験××年以上
	検査担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	保全担当	××人
	スキル	実務経験××年以上
	物流担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
機械装置・設備	建屋(蒸着室)	××年建設
	運搬台車	汎用。汎用機(手づくり)。材料予備あれば製作可能。復旧難易度低い。
	蒸着装置	県内でも希少な設備の為代替生産不能。復旧レベル高い。サービスは のメーカー
	検査台	汎用機(手づくり)。材料予備あれば製作可能。復旧難易度低い。
	バーコードリーダー	汎用機。××台設置。代替購入する際××万/1台かかり、××万。
	空調設備	専用設備。蒸着生産の要であり低電により生産が中断する。復旧難易度は高い。
	クーリングタワー	専用設備。蒸着装置の冷却に使用。代替機なし。復旧難易度は中程度。
IT・データ	生産管理システムデータ	他工場に同システム有。人的資源あれば代替使用できる。
	サーバー	専用サーバ設置。バックアップシステムは外部HDD有。代替サーバによる復旧は××日で可能。サービス対応は 市内メーカー。
通信	ネットワークシステム	有線式、無線式双方有。復旧への難易度は低い。
	電話	ビジネス電話。復旧はNTT任せ。本体故障時のサービス対応は 市内メーカー。
	携帯電話	会社契約携帯(ドコモ) ××本有。
外注・サプライヤー	生地	社内成形及び協力会社よりの部品を仕入する。協力会社××社あり。
	材料	調達担当が発注し、在庫確認する。××社購買。
	材料()	調達担当が発注し、在庫確認する。××社購買。
インフラ・その他	電力	電力は、全ての要であり停電の際は全ての装置が中断する。代替設備はなし。
	水	公共水道を利用。断水の際は金型冷却ができない為要となり、災害時は全て中断する。

【様式 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[組立]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	生地、部材受入担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	組立・検査担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	保全担当	××人
	スキル	実務経験××年以上
	物流担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
機械装置・設備	建屋(塗装工場)	
	ハンドリフト	汎用。代替購入××～××日で可能。
	バーコードリーダー	汎用。代替購入××～××日で可能。
	フォークリフト	電動フォーク××台、電動リーチ××台あり。緊急時の代替はメーカーにて可能。
	タンク溶着装置	専用機。技術レベルが非常に高く、復旧難易度は高い。
	ディスプレイ組立作業台	専用作業台に治具設置している。復旧レベルは中程度。
	組立設備一式	専用作業台に治具設置している。復旧レベルは中程度。
	検査台	汎用機(手づくり)。材料予備あれば製作可能。復旧難易度低い。
	コンプレッサー	××台有。代替機なし。塗装はエアーが必要な為作業が中断する。復旧難易度は高い。
IT・データ	生産管理システムデータ	他工場に同システム有。人的資源あれば代替使用できる。
	サーバー	専用サーバ設置。バックアップシステムは外部HDD有。代替サーバによる復旧は××日で可能。サービス対応は 市内メーカー。
通信	ネットワークシステム	有線式、無線式双方有。復旧への難易度は低い。
	FAX	××台有。復旧はNTT任せ。本体故障時のサービス対応は 市内メーカー。
	携帯電話	会社契約携帯(ドコモ) ××本有。
外注・サプライヤー	部材	調達担当が発注し、在庫確認する。××社有り。
	原材料	調達担当が発注し、在庫確認する。××社有。原則××日分の社内在庫を確保。
	仕入れ部品	協力会社よりの部品を仕入する。協力会社××社あり。
インフラ・その他	電力	電力は、全ての要であり停電の際は全ての装置が中断する。代替設備はなし。
	水	公共水道を利用。断水の際は金型冷却ができない為要となり、災害時は全て中断する。

【様式 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[塗 装]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	生地、部材受入担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	投入担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	除塵担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	保全担当	××人
	スキル	実務経験××年以上
	検査員	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
機械装置・設備	建屋(塗装工場)	
	ハンドリフト	汎用。代替購入××～××日で可能。
	台車	汎用。代替購入××～××日で可能。
	塗装ロボット	専用機。××台有り。転倒等で故障した場合は のメーカーで対応。復旧難易度は高い。
	塗装ブース	××槽あり。塗装環境の要であり、復旧難易度は高い。
	コンプレッサー	××台有。代替機なし。塗装はエアーが必要な為作業が中断する。復旧難易度は高い。
	見切り治具	各製品最低××台づつあり。復旧難易度は中程度。
	乾燥機(電気)	汎用機。電力停止の場合はガス乾燥炉で代替可能。サービスは のメーカー。
	乾燥機(ガス)	汎用機。××台のみ設置。代替機はなし。復旧難易度は中程度。
	集塵機	専用機。××台有り。復旧難易度は低い。
	エアブローガン	汎用機(手づくり)。材料予備あれば製作可能。復旧難易度低い。
	検査台	汎用機(手づくり)。材料予備あれば製作可能。復旧難易度低い。
	バーコードリーダー	汎用機。××台設置。代替購入する際××万/1台かかり、××万。
IT・データ	生産管理システムデータ	他工場に同システム有。人的資源あれば代替使用できる。
	サーバー	専用サーバ設置。バックアップシステムは外部HDD有。代替サーバによる復旧は××日で可能。サービス対応は 市内メーカー。
通信	ネットワークシステム	有線式、無線式双方有。復旧への難易度は低い。
	FAX	××台有。復旧はNTT任せ。
	電話	ビジネス電話。復旧はNTT任せ。
	携帯電話	会社契約携帯(ドコモ) ××本有。
外注・サプライヤー	部材	調達担当が発注し、在庫確認する。××社有り。
	原材料	調達担当が発注し、在庫確認する。××社有。原則××日分の社内在庫を確保。
	仕入れ部品	協力会社よりの部品を仕入する。協力会社××社あり。
インフラ・その他	電力	電力は、全ての要であり停電の際は全ての装置が中断する。代替設備はなし。
	水	公共水道を利用。断水の際は金型冷却ができない為要となり、災害時は全て中断する。

【様式 : 各業務に必要な経営資源の確認】

評価対象業務:[出荷]

経営資源	項目(抽出し適宜追加)	具体的なレベル
人	受注担当者	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	出荷担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	納品担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上、大型免許取得
	発注担当	××人
	スキル	実務経験××ヶ月以上
	請求担当	××人
	スキル	実務経験××年以上
	経理担当	××人
	スキル	実務経験××年以上
機械装置・設備	建屋(成形工場/塗装工場)	××年建設(平成××年改正基準を満足している)
	生産管理システム	他工場に同システム有。人的資源あれば代替使用できる。
	パソコン	デスクトップタイプ××台。代替機有。
	ネットワークシステム	有線式、無線式双方有。復旧への難易度は低い。
	レーザープリンタ	××台有。代替機なし。
	ハンドリフト	汎用機。直接生産に影響はなし。代替購入は××日で可能。
	大型トラック	××トン車××台保有。代替車なし。業者は市内にて対応可能。
	フォークリフト	電動フォーク××台、電動リーチ××台あり。緊急時の代替はメーカーにて可能。
	バーコードリーダー	汎用機。××台設置。代替購入する際××万/1台かかり、××万。
IT・データ	生産管理システムデータ	他工場に同システム有。人的資源あれば代替使用できる。
	サーバー	専用サーバ設置。バックアップシステムは外部HDD有。代替サーバによる復旧は××日で可能。サービス対応は 市内メーカー。
通信	ネットワークシステム	有線式、無線式双方有。復旧への難易度は低い。
	FAX	××台有。復旧はNTT任せ。本体故障時のサービス対応は 市内メーカー。
	電話	ビジネス電話。復旧はNTT任せ。本体故障時のサービス対応は 市内メーカー。
	携帯電話	会社契約携帯(ドコモ) ××本有。
外注・サプライヤー	購買製品	協力会社よりの部品を仕入する。協力会社××社あり。
インフラ・その他	電力	電力は、全ての要であり停電の際は全ての装置が中断する。代替設備はなし。

【様式 :各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[受注]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで従業員が転倒し、負傷。 代替要員の対応可。	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により従業員の家屋が浸水し、出社出来ない。 代替要員対応可。	2	2	4
	台風による風雨・土砂災害で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、安全のため従業員が避難し、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
機械装置・設備	震度6強の地震の揺れで工場内の壁面が剥がれ落ち、窓ガラス割れる。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。 生産管理システムが機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震の揺れで、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
IT・データ	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震で、サーバが落下、破損しバックアップデータが損傷する。	3	2	6
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、サーバのバックアップデータが損傷する。	3	2	6
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、サーバのバックアップデータが損傷する。	3	2	6
通信	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震の揺れで、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
外注・サプライヤー	震度6強の地震の揺れで、システム管理メーカーが被災。 メンテナンス・修理は受けられない。	2	1	2
	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず受発注の作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで、機器が落下、転倒し作動せず、受発注の作業が中断する。	2	2	4
インフラ・その他	震度6強の地震の揺れで、電力会社が被災。 電力の供給が受けられない。	3	3	9

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[射出成形]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで従業員が転倒し、負傷。 代替要員の対応可。	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により従業員の家屋が浸水し、出社出来ない。 代替要員対応可。	2	2	4
	台風による風雨・土砂災害で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、安全のため従業員が避難し、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
機械装置・設備	震度6強の地震の揺れで工場内の壁面が剥がれ落ち、窓ガラス割れる。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。 生産管理システムが機能せず作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。射出成形機が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、広域に停電する。取り出し機が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、広域に停電する周辺機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、広域に停電するクレーンが機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、広域に停電する。 その他機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、成形機(××トン以上)が移動し作動せず、作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、成形機(××トン以下)が転倒し作動せず、作業が中断する。	3	2	6
	震度6強の地震で、成形機が移動し作動せず、作業が中断する。	3	2	6
	震度6強の地震で、コンプレッサーが作動せず、作業が中断する。	3	2	6
	震度6強の地震で、金型が落下、転倒し破損した為、作業が中断する。	3	2	6
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、金型が浸水、作業が中断する。	3	2	6
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し金型が浸水、作業が中断する。	3	2	6
IT・データ	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
通信	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
外注・サプライヤー	震度6強の地震の揺れで、射出成形機メーカーが被災。射出成形機のメンテナンス・修理は受けられない。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、周辺機器メーカーが被災。周辺機器のメンテナンス・修理は受けられない。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、金型メーカーが被災。金型のメンテナンス・修理は受けられない。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、材料メーカー、倉庫が被災。材料の供給が受けられない。	3	1	3
インフラ・その他	震度6強の地震の揺れで、電力会社が被災。 電力の供給が受けられない。	3	3	9
	震度6強の地震の揺れで、広域に断水。 水の供給が受けられない。	2	2	4

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[蒸着]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで従業員が転倒し、負傷。 代替要員の対応可。	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により従業員の家屋が浸水し、出社出来ない。 代替要員対応可。	2	2	4
	台風による風雨・土砂災害で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、安全のため従業員が避難し、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
機械装置・設備	震度6強の地震の揺れで工場内の壁面が剥がれ落ち、窓ガラス割れる。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。 生産管理システムが機能せず作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。 蒸着設備が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、広域に停電する。 周辺機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、蒸着設備が転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
IT・データ	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
通信	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
外注・サプライヤー	震度6強の地震の揺れで、メンテナンスメーカーが被災。 メンテナンス・修理は受けられない。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、部材メーカーが被災。 部材の供給が受けられない。	3	1	3
インフラ・その他	震度6強の地震の揺れで、電力会社が被災。 電力の供給が受けられない。	3	3	9
	震度6強の地震の揺れで、広域に断水。 水の供給が受けられない。	2	2	4

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[組立]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで従業員が転倒し、負傷。 代替要員の対応可。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	3	2	6
	津波・河川の氾濫により従業員の家屋が浸水し、出社出来ない。 代替要員対応可。	3	2	6
	台風による風雨・土砂災害で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	3	2	6
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、安全のため従業員が避難し、作業が中断する。	3	2	6
	台風による風雨・洪水で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	3	2	6
機械装置・設備	震度6強の地震の揺れで工場内の壁面が剥がれ落ち、窓ガラス割れる。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。 生産管理システムが機能せず作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
IT・データ	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
通信	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
外注・サプライヤー	震度6強の地震の揺れで、メンテナンスメーカーが被災。 メンテナンス・修理は受けられない。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、部材メーカーが被災。 部材の供給が受けられない。	3	1	3
インフラ・その他	震度6強の地震の揺れで、電力会社が被災。電力の供給が受けられない。	3	3	9

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[塗 装]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで従業員が転倒し、負傷。 代替要員の対応可。	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により従業員の家屋が浸水し、出社出来ない。 代替要員対応可。	2	2	4
	台風による風雨・土砂災害で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、安全のため従業員が避難し、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。 代替要員の対応可。	2	2	4
機械装置・設備	震度6強の地震の揺れで工場内の壁面が剥がれ落ち、窓ガラス割れる。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。 生産管理システムが機能せず作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震の揺れでガス配管が破損しガス洩れ、ガス爆発、火災が発生する。	3	2	6
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
IT・データ	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
通信	震度6強の地震で、広域に停電する。 機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
外注・サプライヤー	震度6強の地震の揺れで、塗装ロボットメーカーが被災。 メンテナンス・修理は受けられない。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで塗装ブースメーカーが被災。 メンテナンス・修理は受けられない。	3	2	6
	震度6強の地震の揺れで、部材メーカーが被災。 部材の供給が受けられない。	3	1	3
インフラ・その他	震度6強の地震の揺れで、電力会社が被災。電力の供給が受けられない。	3	3	9
	震度6強の地震の揺れで、広域に断水。水の供給が受けられない。	2	2	4

1:2:3で 1:2:3で
記入 記入

【様式 : 各業務が受ける被害の想定とリスク評価】

評価対象業務:[出荷]

経営資源	想定被害(抽出し適宜追加)	影響度	脆弱性	リスクレベル
人	震度6強の地震の揺れで従業員が転倒し、負傷。代替要員の対応可。	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。代替要員の対応可。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により従業員の家屋が浸水し、出社出来ない。代替要員対応可。	2	2	4
	台風による風雨・土砂災害で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。代替要員の対応可。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、安全のため従業員が避難し、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で交通網が寸断し従業員の出社が困難になる。代替要員の対応可。	2	2	4
機械装置・設備	震度6強の地震の揺れで工場内の壁面が剥がれ落ち、窓ガラス割れる。	2	2	4
	震度6強の地震で、広域に停電する。生産管理システムが機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、広域に停電する。機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
IT・データ	震度6強の地震で、広域に停電する。機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震で、サーバが落下、破損しバックアップデータが損傷する。	3	2	6
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、サーバのバックアップデータが損傷する。	3	2	6
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、サーバのバックアップデータが損傷する。	3	2	6
通信	震度6強の地震で、広域に停電する。機器が機能せず作業が中断する。	3	3	9
	震度6強の地震で、機器が落下、転倒し作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	津波・河川の氾濫により工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
	台風による風雨・洪水で工場が浸水し、機器が作動せず、作業が中断する。	2	2	4
外注・サプライヤー	震度6強の地震の揺れで、システム管理メーカーが被災。メンテナンス・修理は受けられない。	2	1	2
	震度6強の地震で、広域に停電する。機器が機能せず出荷の作業が中断する。	2	2	4
	震度6強の地震の揺れで、機器が落下、転倒し作動せず、出荷の作業が中断する。	2	2	4
インフラ・その他	震度6強の地震の揺れで、電力会社が被災。電力の供給が受けられない。	3	3	9

1・2・3で 1・2・3で
記入 記入

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務:(受注)

想定被害	震度6強の地震、津波、台風による風水害、河川の氾濫・洪水による水害	
基本対応	取引先との契約上、納期遅延は許されない。また取引先地域が多岐に渡る為1日の猶予の無い場合も想定される。生産優先で有るがその為には社員の安全を最優先に取り組み	
目標復旧時間	5日	

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	所要時間	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	・多能工化教育を行い××人の可能者を確保する。 (各作業マニュアルあり)	・**日	・0 時間内実施	・被災負傷、交通寸断による××人の交代要員の確保。 ・社内対応不可の場合は他工場の人材確保。 ・高潮、洪水で工場内浸水の場合、作業中断し避難。	・**日	代替要員: **
機械装置・設備	・耐震サーバラックの設置 ・デスクトップPC・プリンターの固定 ・PCを底上げ設置 ・PC、レーザープリンタの代替機確保 ・無停電装置(UPS)の設置	・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日	・** ・** ・** ・**	・紙媒体での作業実施。 ・他工場の装置を代替使用する。	・**日	・0
IT・データ	・グループ共有サーバ(データセンター)による保存管理 クラウドサーバにて保管	・**日 ・**日	・0			
通信	・従業員の連絡先確保(携帯番号表作成) ・社内緊急連絡HPの社員周知(カード配布)	・**日	・**	・インフラの復旧を待つ ・従業員の連絡先一覧を使用し安否確認実施。 ・社内緊急連絡HPにて情報提供	・**日	・0
外注・サプライヤー	・メンテナンスメーカーとの緊急連絡網作成 ・協力会社との緊急連絡網作成 ・代替メーカーの確保	・**日	・**	・メンテナンスメーカーへの緊急対応要請。 ・協力会社の被害状況確認実施。	・**日	・**
インフラ・その他				・広域な停電の場合電力会社との連絡体制を確保 ・広域停電が××日以上の場合、顧客との契約維持の交渉、資金の調達を検討。	・**日	・試算難しい

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務: (射出成形)

想定被害	震度6強の地震、津波、台風による風水害、河川の氾濫・洪水による水害
基本対応	取引先との契約上、納期遅延は許されない。また取引先地域が多岐に渡る為1日の猶予の無い場合も想定される。生産優先で有るがその為には社員の安全を最優先に取り組み
目標復旧時間	3日

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	所要時間	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	<ul style="list-style-type: none"> ・材料供給:多能工化教育を行い××人の可能者を確保する。 ・段取:現行段取者のレベルアップ ・検査:多能工化教育を行い全員××台持ちの可能者を確保する。 ・金型メンテ:現行メンテ者のレベルアップ ・保全:現行担当者のレベルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**ヶ月 ・**ヶ月 ・**ヶ月 ・**ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 ・時間内実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災負傷、交通寸断による××人の交代要員の確保。 ・社内対応不可の場合は他工場の人材確保。 ・高潮、洪水で工場内浸水の場合、作業中断し避難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・代替要員:**
機械装置・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・広域停電の場合、自家発電装置のレンタル ・射出成形機のアンカー施工 ・周辺機器の転倒防止施工 ・協力会社への一時生産委託が可能かどうかの調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**ヶ月 ・**ヶ月 ・**ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日:** ・** ・** ・製品単価による 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの復旧を待つ ・成形機、周辺機器のメーカーへ緊急対応要請。 ・協力会社への一時生産委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**日 ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・**
IT・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票類はデータセンターへ保管管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資料の回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 			
通信	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の連絡先確保(携帯番号表作成) ・社内緊急連絡HPの社員周知(カード配布) 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの復旧を待つ ・従業員の連絡先一覧を使用し安否確認実施。 ・社内緊急連絡HPにて情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・0
外注・サプライヤー	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーとの緊急連絡網作成 ・協力会社との緊急連絡網作成 ・代替メーカーの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーへの緊急対応要請。 ・協力会社の被害状況確認実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・**
インフラ・その他				<ul style="list-style-type: none"> ・広域な停電の場合電力会社との連絡体制を確保 ・広域停電が××日以上の場合、顧客との契約維持の交渉、資金の調達を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・試算難しい

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務:(蒸着)

想定被害	震度6強の地震、津波、台風による風水害、河川の氾濫・洪水による水害
基本対応	取引先との契約上、納期遅延は許されない。また取引先地域が多岐に渡る為1日の猶予の無い場合も想定される。生産優先で有るがその為には社員の安全を最優先に取り組み
目標復旧時間	3日

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	所要時間	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	<ul style="list-style-type: none"> ・生地・部材受入:投入担当者との多能工化教育を行い××名の可能者を確保する。 ・投入:生地・部材受入担当者との多能工化を行い××名可能者を確保 ・検査:多能工化教育を行い××名の可能者を確保する。 ・保全:現行メンテ者のレベルアップ ・物流:生地・部材受入担当者との多能工化を行い××名の可能者を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**日 ・**ヶ月 ・**ヶ月 ・**ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 ・時間内実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災負傷、交通寸断による××人の交代要員の確保。 ・社内対応不可の場合は他工場の人材確保。 ・高潮、洪水で工場内浸水の場合、作業中断し避難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・代替要員:**
機械装置 ・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・広域停電の場合、自家発電装置のレンタル ・蒸着室の一部耐震補強工事の施工 ・配管の補強工事の施工 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**ヶ月 ・**ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日・** ・? ・? 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの復旧を待つ ・蒸着設備メーカーへ緊急対応要請。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**日 	
IT・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票類はデータセンターへ保管管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資料の回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 			
通信	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の連絡先確保(携帯番号表作成) ・社内緊急連絡HPの社員周知(カード配布) 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの復旧を待つ ・従業員の連絡先一覧を使用し安否確認実施。 ・社内緊急連絡HPにて情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・0
外注 ・サプライヤー	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーとの緊急連絡網作成 ・協力会社との緊急連絡網作成 ・代替メーカーの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーへの緊急対応要請。 ・協力会社の被害状況確認実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・**
インフラ・その他				<ul style="list-style-type: none"> ・広域な停電の場合電力会社との連絡体制を確保 ・広域停電が××日以上の場合、顧客との契約維持の交渉、資金の調達を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・試算難しい

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務:(組立)

想定被害	震度6強の地震、津波、台風による風水害、河川の氾濫・洪水による水害
基本対応	取引先との契約上、納期遅延は許されない。また取引先地域が多岐に渡る為1日の猶予の無い場合も想定される。生産優先で有るがその為には社員の安全を最優先に取り組み
目標復旧時間	3日

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	所要時間	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	<ul style="list-style-type: none"> ・生地・部材受入:組立・検査担当との多能工化教育を行い××人の可能者を確保する。 ・投入:生地・部材受入担当者との多能工化を行い××名の可能者を確保する。 ・検査:多能工化教育を行い××名の可能者を確保する。 ・保全:現行メンテ者のレベルアップ ・物流:生地・部材受入担当者との多能工化を行い××名の可能者を確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**日 ・**ヶ月 ・**ヶ月 ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 ・時間内実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災負傷、交通寸断による××人の交代要員の確保。 ・社内対応不可の場合は他工場の人材確保。 ・高潮、洪水で工場内浸水の場合、作業中断し避難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・代替要員:**
機械装置・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・広域停電の場合、自家発電装置のレンタル ・予備の組立設備確保 ・コンプレッサの代替の為エンジンコンプレッサを確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**ヶ月 ・**日 		<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの復旧を待つ ・組立設備のメーカーへ緊急対応要請。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**日 	
IT・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票類はデータセンターへ保管管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資料の回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 			
通信	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の連絡先確保(携帯番号表作成) ・社内緊急連絡HPの社員周知(カード配布) 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの復旧を待つ ・従業員の連絡先一覧を使用し安否確認実施。 ・社内緊急連絡HPにて情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・0
外注・サプライヤー	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーとの緊急連絡網作成 ・協力会社との緊急連絡網作成 ・代替メーカーの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーへの緊急対応要請。 ・協力会社の被害状況確認実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・**
インフラ・その他				<ul style="list-style-type: none"> ・広域な停電の場合電力会社との連絡体制を確保 ・広域停電が××日以上の場合、顧客との契約維持の交渉、資金の調達を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・試算難しい

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務: (塗 装)

想定被害	震度6強の地震、津波、台風による風水害、河川の氾濫・洪水による水害
基本対応	取引先との契約上、納期遅延は許されない。また取引先地域が多岐に渡る為1日の猶予の無い場合も想定される。生産優先で有るがその為には社員の安全を最優先に取り組み
目標復旧時間	3日

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	所要時間	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	<ul style="list-style-type: none"> ・生地・部材受入:投入担当との多能工化教育を行い××名の可能者を確保する。 ・投入:部材受入担当者との多能工化を行い現状××名のレベルアップを図る ・除塵:投入担当との多能工化を行い××名の可能者を確保する ・保全:現行メンテ者のレベルアップ ・検査:多能工化教育を行い××名の可能者を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 ・時間内実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災負傷、交通寸断による××人の交代要員の確保。 ・社内対応不可の場合は他工場の人材確保。 ・高潮、洪水で工場内浸水の場合、作業中断し避難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・代替要員:**
機械装置・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・広域停電の場合、自家発電装置のレンタル ・予備のロボット確保 ・コンプレッサの代替の為エンジンコンプレッサーを確保 ・ガスタンクに地震感知計を設置 ・ガスタンク、配管の年次点検を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**ヶ月 ・**日 ・**日 ・**年 		<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの復旧を待つ ・塗装設備メーカーへ緊急対応要請。 ・ガスタンク付近への侵入禁止 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**日 ・**日 	
IT・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票類はデータセンターへ保管管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資料の回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 			
通信	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の連絡先確保(携帯番号表作成) ・社内緊急連絡HPの社員周知(カード配布) 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの復旧を待つ ・従業員の連絡先一覧を使用し安否確認実施。 ・社内緊急連絡HPにて情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・0
外注・サプライヤー	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーとの緊急連絡網作成 ・協力会社との緊急連絡網作成 ・代替メーカーの確保 		<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーへの緊急対応要請。 ・協力会社の被害状況確認実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・**
インフラ・その他				<ul style="list-style-type: none"> ・広域な停電の場合電力会社との連絡体制を確保 ・広域停電が××日以上の場合、顧客との契約維持の交渉、資金の調達を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・試算難しい

【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】

評価対象業務:(出荷)

想定被害	震度6強の地震、津波、台風による風水害、河川の氾濫・洪水による水害
基本対応	取引先との契約上、納期遅延は許されない。また取引先地域が多岐に渡る為1日の猶予の無い場合も想定される。生産優先で有るがその為には社員の安全を最優先に取り組み
目標復旧時間	3日

分類	事前対応			緊急時対応		
	対策内容	所要時間	費用(千円)	対策内容	所要時間	費用(千円)
人	<ul style="list-style-type: none"> ・受注:発注担当者との多能工化教育を行い××人の可能者を確保する。 ・出荷:現行担当者を多能工化しレベルアップ ・納品:出荷担当者との多能工化教育により××名確保 ・発注:発注担当者との多能工化教育を行い××人の可能者を確保する。 ・請求:経理担当者との多能工化を行い××名の可能者を確保 ・経理:請求担当者との多能工化を行い××名の可能者を確保する 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**ヶ月 ・**ヶ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 時間内実施	<ul style="list-style-type: none"> ・被災負傷、交通寸断による××人の交代要員の確保。 ・社内対応不可の場合は他工場の人材確保。 ・高潮、洪水で工場内浸水の場合、作業中断し避難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・代替要員:**
機械装置・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震サーバラックの設置 ・デスクトップPC・プリンターの固定 ・PCを底上げ設置 ・PC、レーザープリンタの代替機確保 ・無停電装置(UPS)の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** ・** ・** ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体での作業実施。 ・他工場の装置を代替使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・0
IT・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ共有サーバ(データセンター)による保存管理 クラウドサーバにて保管 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種資料の回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・0 			
通信	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の連絡先確保(携帯番号表作成) ・社内緊急連絡HPの社員周知(カード配布) 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラの復旧を待つ ・従業員の連絡先一覧を使用し安否確認実施。 ・社内緊急連絡HPにて情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・0
外注・サプライヤー	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーとの緊急連絡網作成 ・協力会社との緊急連絡網作成 ・代替メーカーの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・** 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンスメーカーへの緊急対応要請。 ・協力会社の被害状況確認実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・**
インフラ・その他	<ul style="list-style-type: none"> ・広域な停電の場合電力会社との連絡体制を確保 ・広域停電が××日以上の場合、顧客との契約維持の交渉、資金の調達を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・試算難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域な停電の場合電力会社との連絡体制を確保 ・広域停電が××日以上の場合、顧客との契約維持の交渉、資金の調達を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・**日 	<ul style="list-style-type: none"> ・試算難しい

各社の実情に応じて記入すること。

復旧費用

	復旧費用金額	備考
機械装置・設備		
IT・データ		
通信		
ライフライン		
その他		
小計(A)		

業務中断期間の損失

	金額	備考
商品・原材料喪失		
売上高(目標 - 予想)		
粗利益(目標 - 予想)		
販売・管理費(目標 - 予想)		
営業利益(目標 - 予想)		
小計(B)		+

手持ち資金の積算

	金額	備考
現金・預金		
損害保険金		
経営者からの支援		
小計(C)		

資金調達の是非の確認

	金額	備考
- (+)		マイナスであれば資金調達

資金調達先の検討

	金額	備考
調達資金合計		

教育・訓練計画

名称	期日	目的・内容
教育 一般社員教育(知識/意識/動機付)	毎年××月(中途入社都度)	一般従業員を対象とした防災・BCP意識高揚教育 (実施内容) ・防災・BCPの目的・動機付 ・BCP対応体制・人員配置 ・計画について ・実施手順について ・日頃の心構え
教育 管理監督者教育 (BCP運用管理)	毎年××月	管理・監督者を対象としたBCP運用管理教育 (実施内容) ・BCPの経営戦略上の目的・意義 ・BCP対応体制・組織間連携・人員配置 ・年間活動計画について ・実施手順について ・BCP運用責任者としての日頃の心構え ・対応策の検討・提案について ・BCPに関わる財務管理・資金運用 等
避難訓練 風水害想定避難訓練	毎年××月	台風の時期に合わせて実施(風水害が主) (実施内容) ・机上訓練(洪水を想定した初動活動、復旧活動のシミュレーション) ・実地訓練(洪水を想定した初動活動、特に人命中心の避難訓練)
避難訓練 地震想定避難訓練	毎年××月	防災の日に合わせて実施(地震対策が主) (実施内容) ・机上訓練(洪水を想定した初動活動、復旧活動のシミュレーション) ・実地訓練(地震を想定した初動活動、特に人命中心の避難訓練)

【様式 : BCP運用チェックリスト】

期 日	年 月 日
部門名	
部門長名	

BCP運用チェックリスト

No	内 容	チェック
1	本計画の目的に変更はないか	
2	企業情報に大きな変更はないか	
3	BCPの基本方針に変更はないか	
4	対象としている災害に変更はないか	
5	重要事業の特定に変更はないか	
6	重要業務の特定に変更はないか	
7	目標復旧時間の変更はないか	
8	重要業務に必要な経営資源の内容に大きな変更はないか	
9	重要業務が受ける被害の想定に変更はないか	
10	重要業務のリスク評価に変更はないか	
11	事業継続のための対応策はこれで良いか	
12	BCP対応体制の仕組みはこれで良いか	
13	BCP対応体制表のメンバーに変更はないか	
14	初動対応の進め方はこれで良いか	
15	BCP発動の進め方はこれで良いか	
16	復旧活動の進め方はこれで良いか	
17	財務計画の進め方はこれで良いか	
18	教育・訓練の進め方はこれで良いか。教育・訓練は予定通り実行されているか	
19	点検の進め方はこれで良いか。事前対策・緊急時対応は準備ができていますか	
20	是正の進め方はこれで良いか	
21	見直しの進め方はこれで良いか	
22	その他の点について問題はないか	

特記事項	
------	--

出社対象者、安否確認者は、印でチェックしてください！

	氏名	部署	役職	BCPでの役割	主な資格、技術	電話番号	携帯電話番号	携帯メールアドレス	緊急連絡先(家族など番号)	安否確認チェック	備考
1						***_***_****	***_****_****				
2						***_***_****	***_****_****				
3						***_***_****	***_****_****				
4						***_***_****	***_****_****				
5				財務対応班		***_***_****	***_****_****				
6						***_***_****	***_****_****				
7						***_***_****	***_****_****				
8						***_***_****	***_****_****				
9						***_***_****	***_****_****				
10						***_***_****	***_****_****				
11						***_***_****	***_****_****				
12						***_***_****	***_****_****				
13						***_***_****	***_****_****				
14						***_***_****	***_****_****				
15						***_***_****	***_****_****				
16						***_***_****	***_****_****				
17						***_***_****	***_****_****				
18						***_***_****	***_****_****				
19				被災状況確認		***_***_****	***_****_****				
20						***_***_****	***_****_****				
21						***_***_****	***_****_****				
22						***_***_****	***_****_****				
23						***_***_****	***_****_****				
24						***_***_****	***_****_****				

【様式 主要取引先リスト】

H ××年 ××月 ××日更新

区分	項目	企業・機関名	担当者	電話	携帯電話(FAX)	メールアドレス	備考
主要顧客				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
協力先企業				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
機械・メンテナンス 設備業者				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
原材料				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
物流				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
システム・データ				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
ライフライン				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
官公庁				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
金融機関				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
その他				***_***_****	***_***_****		
				__****	***_***_****		
				__****	***_***_****		

【様式 : 避難計画・避難経路図】

避難計画

就業時の災害発生時には、従業員の人命確保、安全確保を最優先とした対応を図る。建物内、敷地内避難場所での残留に危険性を感じた場合は、直ちに避難誘導責任者の指示に従い、地区避難場所へ移動する。
 避難は、BCP対策本部長の避難命令と、避難誘導責任者の指示に従い、予め定められた避難経路図に沿って行なうものとする。

避難経路図 及び 危険マップ

平面図、地図などを用いて分かりやすく表示すること。

地区避難所への経路マップ

地震、水害時 :

地区避難所への経路マップ

津波予測時 :

事業所名	株式会社 B社
避難場所 (集合場所)	株式会社B社 駐車場
避難誘導責任者 (代理責任者)	(部) (部)
避難誘導時の注意点	人命を最優先とした行動をとる。非難持ち出し物を各担当者は責任を持って持ち出しする。

【様式 1 : 備蓄品リスト】

✓ チェックしてください！

項目	備蓄量	更新日	整備状況 チェック
救急箱	××セット		
衛生用具類(ウエットティッシュ、トイレトーパー等)	各××個		
タオル	××枚		
ラジオ(乾電池式、手巻き充電式) 予備乾電池	××台		
懐中電灯、予備電池	懐中電灯××個/予備電池××本		
従業員分の水(1人当たり1日3リットルが目安)	××本		
食料	××日分(××食)		
工具類(パール、ペンチ、ハンマー、シャベル等)	××セット		
軍手・防塵マスク	軍手:××双 防塵マスク:××ヶ		
ビニールシート及び布テープ	ビニールシート××枚/テープ××本		
ブルーシート	(大)××枚		
毛布	××枚		
携帯電話の充電器	××セット		
拡声器	××台		
近隣地図、避難場所地図	××部		
紙コップ、ペーパー皿、プラコップ、箸、スプーン	××セット		
ガムテープ	××本		
無線機(トランシーバー)	××セット		
ポリタンク	××本		
ロープ	××本		
紙媒体の書類(伝票、マニュアル)	一式		

従業員携帯カード

各部署、各従業員が、被災時の連絡先や自分のやるべきことについて記入しましょう。
記入したものは、定期入れや財布に納め常に携帯するようにしてください。

[1]携帯電話(災害伝言板サービス)

au	トップメニュー ⇒ 災害用伝言板	5つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可	1電話番号に つき10件登録 可能	設定されたア ドレスに安否 情報を送信	① 伝言板トップから 「確認」を選択 ② 確認したい電話番 号を入力・検索 ③ 安否情報を選択 ④ 安否情報が表示	http://dengon.ezweb. ne.jp
パソ ンフ クト	Yahoo!ケータイ ⇒ 災害用伝言板	4つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可				http://dengon.softban k.ne.jp
ド コモ	i-menu⇒ 災害用伝言板	4つのコメントから選択 または100文字以内の コメント登録可				http://dengon.doco o.ne.jp/top.cgi

[2]安否確認ルール

基本ルール

・安否情報を所属長へ連絡する。所属長への連絡がつかない場合、対策本部のアドレスへメールまたは電話を通じて報告する。

報告内容

・本人および同居家族の安否
・自宅の損傷状況、出社の見込み
・避難している場合、その場所・電話番号

報告を行う場合は以下のいずれか

安否確認 実施基準	1. 電話（固定電話、携帯電話）
	2. 携帯メール
	3. 災害伝言ダイヤル（NTT災害伝言ダイヤル171）
	4. 携帯電話「災害伝言板サービス」
	5. 直接出社

[3]会社への連絡

A 1 所属長に連絡する（所属長は対策本部へ連絡）

携帯	***.***.***
携帯メール	****@***.***
自宅	***.***.***

2 課長に連絡する（所属長は対策本部へ連絡）

携帯	***.***.***
携帯メール	****@***.***
自宅	***.***.***

課長に連絡が取れない場合は会社へ直接連絡

携帯	***.***.***
携帯メール	-
対策本部	***.***.***

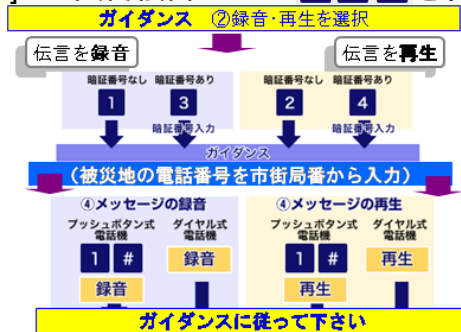
B 安否確認シートに状況を入力

[4]災害情報入手先

道路交通 情報	大分県道路情報 システム	http://road.qsr.mlit.go.jp/ /
気象情報	大分地方気象台	http://www.jma- net.go.jp/oita/
災害情報1	大分県緊急災害 情報	http://www.pref.oita.jp/s ite/bosaianzen/
災害情報2	河川水位・土砂 災害情報	http://river.pref.oita.jp/

これらの情報は大分県公式ウェブサイト
(<http://www.pref.oita.jp/site/bosaianzen/>)から入手できます

[5]NTT災害伝言ダイヤル171をする



[6]初期行動

外出・通勤時

- 原則として帰社(外出先が自宅に近い場合は帰宅するなど状況により判断)
- 帰宅後、安否報告ルールに従い、会社に安否等を報告

早朝・夜間・休日

- 原則として指示があるまで自宅待機
- 安否報告ルールに従い、会社に安否等を報告する

就業時

- 予め定めた初動対応の実施
- 自分の周辺の機器の電源をOFF
- 指示に従い避難

まずチェック!

火の始末	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>

[7]行動要領

☆地震発生 ⇒

- 落ち着いて身の安全確保を！
・机の下などに入り身を守る
- 揺れがわきまったら ⇒
● すぐやく火の始末、初期消火
● ドアや窓を開けて、出口を確認
● スリッパや靴を履いて足を守る
- 安全が確認できたら ⇒
● 家族・隣近所の安全を確認
● テレビ・ラジオなどで情報確認
● 消火・救出活動などに協力

☆避難時の注意点

- 家を出る前に出火防止対策
- 外に逃げるときはあわてない
- カバンなどで頭を保護し、落下部から離れる
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に
- 狭い道路、塀きわ、かけや川べりに近寄らない
- 山崩れ、かけ崩れ、津波に注意
- 自動車の運転中は、ゆっくりとスピードを落とし、ハザードランプをつけて道路左側に停車しキーはつけたまま徒歩で避難

【様式 : 災害情報収集先一覧】

1. 避難場所情報

市指定避難場所

<http://www.city.....>

2. 防災・災害情報

大分県緊急災害情報

大分県災害情報 大分県ホームページ

<http://www.pref.oita.jp/site/bosaiizen/>

大分県土砂災害警戒情報 大分県ホームページ

<http://sabo.pref.oita.jp/dosya/index.html>

大分県土木防災情報システム

大分県雨量・水位観測情報 大分県ホームページ

<http://river.pref.oita.jp/>

大分県防災情報携帯サイト 大分県ホームページ

<http://river.pref.oita.jp/mobile/>

大分地方气象台

<http://www.jma-net.go.jp/oita/>

3. ライフライン

電力

九州電力 福岡営業所

<http://f.kyuden.co.jp/>

九州電力 大分支社

<http://o.kyuden.co.jp/>

ガス

株式会社

<http://www.....>

水道

水道(市)

<http://www.city.....>

通信

NTT西日本

<http://www.ntt-west.co.jp/>

* 災害伝言ダイヤル 171

4. 交通情報

国土交通省 大分県河川国道事務所

<http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/docs/sitemap.html>

大分県県道路情報システム

<http://road.qsr.mlit.go.jp/>

列車運行情報

<http://www.navitime.co.jp/train/>

5. 災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤル(171)

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>

災害用伝言ダイヤル

<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

NTTドコモ

<http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/>

au

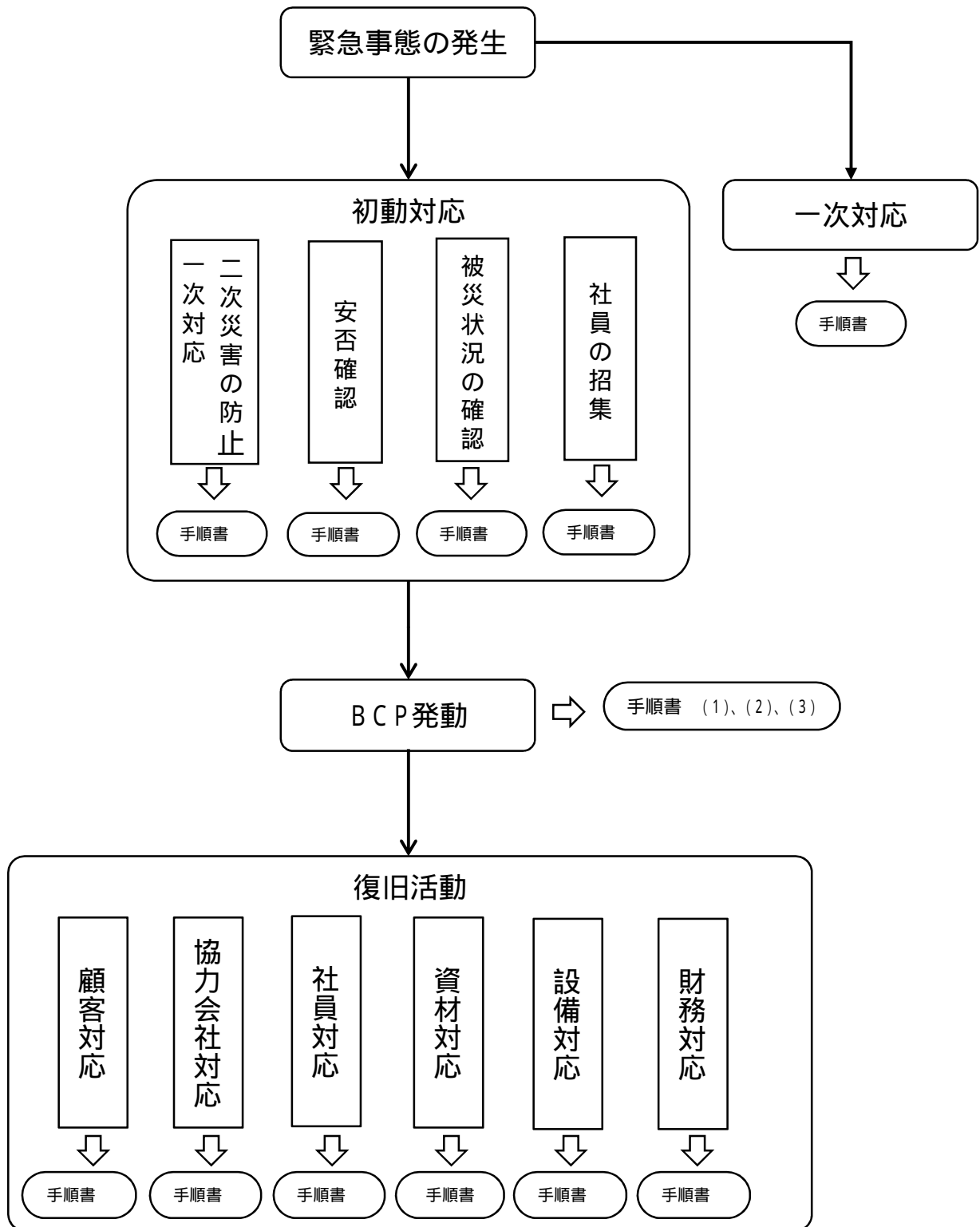
http://www.au.kddi.com/notice/saigai_dengon/index.html

ソフトバンク

<http://mb.softbank.jp/mb/service/dengon/>

【手順書】

災害発生時の対応フロー



【手順書】 BCP対応体制

BCP構築プロジェクト

役職名	氏名	所属	主な担当業務
プロジェクトオーナー			BCP構築における総括
プロジェクトリーダー			BCP構築におけるマニュアル作成
プロジェクトメンバー			BCP構築におけるマニュアル作成
プロジェクトメンバー			BCP構築におけるマニュアル作成

BCP平時運用体制

役職名	氏名	所属	主な担当業務
BCP管理担当			BCP運用における監視
教育訓練担当			BCP運用における教育訓練の実施
予防対策担当			BCP運用における予防対策の実施
演習担当			BCP運用における演習計画・実施

緊急時対策本部

役職名	氏名	所属	主な担当業務
対策本部長			初動対応状況を把握し、BCP発動基準に順じBCP発動を判断する
本部員			初動対応の状況を取り纏め、本部長へ報告する
本部員			初動対応の状況を取り纏め、本部長へ報告する
本部員			初動対応の状況を取り纏め、本部長へ報告する
初動対応グループ			被災状況を調査・把握し本部へ報告する
二次災害防止班			2次災害を防止する為の行動を行う
社員安否確認			就業時被災の場合、従業員の安否を確認する
被災状況確認			生産設備、資材等の被災状況を把握する
社員招集			BCP発動時、復旧に向けて社員を招集する
復旧活動グループ			BCP発動時、設備復旧に向けて活動する
顧客対応班			被災状況、復旧目標時間を顧客へ報告し、取引継続の交渉を行う
協力会社対応班			協力会社の被災状況を調査・取りまとめし本部へ報告する
社員対応班			被災時の社員の安全確保の為の活動を行う
資材対応班			被災時の生産確保、復旧へ向けて資材確保の活動を行う
設備対応班			被災時の設備補修、復旧に向けての設備確保の活動を行う
財務対応班			被災時の復旧に向けての財務確保を行う

【手順書】 一次対応

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
情報の入手	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット、テレビ等で地震、台風、ゲリラ豪雨の予報の情報を入手する 		
対応の判断	<ul style="list-style-type: none"> ・入手した情報を整理し、判断する (台風の場合)・九州北部が暴風圏内、又は通過経路に掛かっているか ・接近前に社員を退社させるべきか判断する (ゲリラ豪雨の場合) 予報地域にあたるか (地震の場合) 津波の予報は出ているか ・以上の判断結果を社内展開する 		【様式 :避難計画・避難経路図】 【様式 :備蓄品リスト】
被災防止行動	<ul style="list-style-type: none"> (台風の場合) 事業中断が無い様に設備、資材等への暴風、水没対策を行なう。 (ゲリラ豪雨の場合) 事業中断が無い様に設備、資材等への暴風、水没対策を行なう。 (地震の場合) 津波発生情報の場合、緊急避難する。 		【様式 :避難計画・避難経路図地区避難所への経路マップ】
【備考】			

【手順書】 初動対応「一次対応・二次災害の防止」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
事業所からの退避	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に留まっていると危険な場合、お客さまや従業員を事業所の外の安全な場所に退避させる。 ・避難場所は予め調査、設定しておく。 ・退避が必要な状況としては、津波の来襲、洪水、土砂災害、火災、有毒ガスの漏洩など。 	避難誘導班 /	【様式：避難計画・避難経路図】
応急手当や初期消火	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者の救出や応急手当を行う。 ・火災が発生した場合は初期消火を行う。 	救護班 / 消火班	【様式：避難計画・避難経路図】 【様式：備蓄品リスト】
消防への通報	<ul style="list-style-type: none"> ・火災発生時や救急車出動要請の場合は119番通報する。 ・その他、法律や協定で決められた機関がある場合は、そこに通報する。 	通報班 /	【緊急・異常時連絡網】
重要書類の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・重要書類が損傷するおそれのある場合、事業所内の安全な場所に移動するか、事業所外へ持ち出す。 ・重要書類が損傷した場合、予め別の場所に保管していた書類のコピーで然るべき処置を行う。 	非常持ち出し班 /	
データの保護	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバ、PCが損傷する恐れのある場合は事業所内の安全な場所に移動するか、事業所外へ持ち出す。 ・サーバは移動できないのでバックアップハードディスクを移動する。 	非常持ち出し班 /	
【備考】			

【手順書】 初動対応「社員の安否確認」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
お客さま、従業員の安否	<ul style="list-style-type: none"> ・来社中のお客様に負傷がないか確認する。 ・従業員に負傷がないかを確認する。 ・従業員が全員いるか確認する。 一般電話の利用 FAXの利用 携帯電話の利用 PCメールの利用 携帯メールの利用 	健康管理 / 管理部会	【様式 : 主要取引先リスト】
従業員の家族の安否	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員とその家族に負傷がないか、住家の損傷がないかを確認する。 ・従業員と電話が繋がらない場合、近所の従業員等に様子を見に行かせる。 		【様式 : 従業員連絡先リスト・安否確認チェックシート】
【備考】			

【手順書】 初動対応「被災状況の確認」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
建屋、生産機械、通信機器	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内への立入りが危険でなくなってから実施。 ・建屋の損傷状況を調べる。 ・生産機械の損傷状況を調べる。 ・一般電話、携帯電話、FAX、インターネット等の通信機器が使えるかどうかを調べる。 		
生産資材、部品	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内への立入りが危険でなくなってから実施。 ・生産材料、部品等の損傷状況を調べる。 		
情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内への立入りが危険でなくなってから実施。 ・パソコン、ソフトウェアが使えるかどうかを調べる。 		【様式 Ⅰ：主要取引先リスト】
地域住民や近隣事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・延焼火災や有毒ガス漏洩等、直ちに避難が必要な状況でないかどうかを調べる。 ・初期消火や下敷き者の救出等、地域貢献活動が必要な状況かどうかを把握する。 		
自然災害、交通やライフライン	<ul style="list-style-type: none"> ・地震の場合、津波の恐れがないか2次災害の兆候に注意する。 ・交通機関の混乱状況を調べる。 ・電気、ガス、上下水道の停止状況を調べる。 ・それらの情報源としては、ラジオ、インターネット、テレビ、電話問合せなどがある。 		【様式 Ⅱ：災害情報収集先一覧】
【備考】			

【手順書】 初動対応「社員の招集」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
経営者の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・社外にいる場合、直ちに出社する。 ・出社までの間、電話等で従業員に指示を出す。 		【様式：従業員連絡先リスト・安否確認チェックシート】
従業員の情報展開	<ul style="list-style-type: none"> ・就業時間外に緊急事態が発生した場合、従業員へ社内ホームページを使って会社の状況を展開する。 		
従業員の参集	<ul style="list-style-type: none"> ・就業時間外に緊急事態が発生した場合、従業員を招集する。 ・地震や風水害では従業員が自主的に参集する基準を事前に設けておく。 		【様式：従業員連絡先リスト・安否確認チェックシート】
【備考】			

【手順書】-1BCP発動対応

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
連絡手段の確保	・顧客や協力会社との連絡手段を確保する。 一般電話の利用 FAXの利用 携帯電話の利用 PCメールの利用 携帯メールの利用 その他、従業員による顧客訪問を行なう		【様式：従業員連絡先リスト・安否確認チェックシート】
顧客への被災状況報告	・顧客に対して、手順 で取りまとめた事業所の被災状況、今後の納品等の目処、確実な連絡手段、次回の連絡時期を報告する。		【様式：主要取引先リスト】
協力会社の被災状況把握	・協力会社に対して、事業所の被災状況、今後の納品の目処、確実な連絡手段、次回の連絡時期について報告を求める。		【様式：主要取引先リスト】
材料メーカーの被災状況把握	・材料メーカーに対して、事業所の被災状況、今後の納品の目処、確実な連絡手段、次回の連絡時期について報告を求める。		【様式：主要取引先リスト】
【備考】			

【手順書】-2BCP発動対応

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
中核事業のダメージ判断	<ul style="list-style-type: none"> ・中核事業について、ボトルネックとなる事業資源の被災状況等から、中核事業が被ったダメージの大きさを把握する。 ・ボトルネックとなる事業資源としては、顧客や協力会社、従業員、建屋や射出成形機、生産管理システム、ライフラインなどがあげられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式：中核事業の業務分類】 【様式：各業務に必要な経営資源の確認】 【様式：各業務が受ける被害の想定とリスク評価】
目標復旧時間設定	<ul style="list-style-type: none"> ・予め検討していた「目標復旧時間の目処」を元に、現在の被災状況、今後の事態進展の予測を考慮して設定する。 ・顧客の納得が得られるか、復旧後に経営が成り立つか、現実的かどうかを総合的に考えて設定する。 ・下記の「財務の予測診断」の結果も考慮する。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式：影響度評価と目標復旧時間の設定】 【様式：緊急時資金繰り計画書】
応急・復旧対策方針の決定	<ul style="list-style-type: none"> ・事業資源の損害が大きい場合、次のどの方針で目標復旧時間内に中核事業の復旧を目指すかを決定する(組み合わせもある)。 現在の事業所を復旧させて操業 代替工場に生産機械等を移動して操業 他社等に生産を一時移管する 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式：各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】
財務の予測診断	<ul style="list-style-type: none"> ・財務診断モデルを用いて、復旧費用、今後のキャッシュフロー、不足資金を予測する。 ・予測結果は融資申請の際にも役立つ。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式：緊急時資金繰り計画書】
実施体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮命令系統と役割分担を従業員に明示する。 ・必要なら、取引企業等から要員応援を仰ぐ(あるいは応援を出す)。 		<ul style="list-style-type: none"> 【手順書】BCP対応体制
拠点場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が損傷した場合、顧客や協力会社と連絡が取れ、従業員を指揮できる拠点場所を確保する(自宅やプレハブ、自動車でも良い)。 		<ul style="list-style-type: none"> 候補地を決める
【備考】			

【手順書】-3BCP発動対応

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
情報の整理	手順書 -1、手順書 -2の情報を整理し、復旧活動に向けた体制についての状況の把握を行う。		【手順書】BCP対応体制
BCP発動	対策本部長は、上記の情報の整理や目標復旧時間等を勘案し、復旧に向けた活動を始める号令を発する。		
【備考】			

【手順書】 復旧活動「顧客対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
取引調整(他社等への一時移管を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客に対して今後の納品等の計画を説明し了解を得る。 ・必要に応じて、他社での一時的な代替生産等を調整する。(グループ工場、顧客を通じて) ・顧客との取引ルールとして、他社での代替生産は一時的なものであり、復旧後は発注を戻すことを原則とする。 		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】
取引復元	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の事業資源が復旧した時点で、代替生産を引き上げ、顧客に被災前の取引に復元してもらう(上記の調整結果どおり)。 		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「協力会社対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
取引調整(他社等への一時移管を含む)	・協力会社に対して今後の納品等の計画の説明を求め、必要に応じて、他社での一時的な代替生産等を調整する。		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】
取引復元	・協力会社の事業資源が復旧した時点で、代替生産を引き上げ、被災前の取引に復元する(上記の調整結果どおり)。		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「社員対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
従業員との情報共有と生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・全従業員に対して事業継続方針を説明し、適宜、その進捗状況を示す。 ・従業員の食事や日用品等を確保する。 ・従業員の本人や家族が死傷した場合、できる限りの配慮を行う。 ・住家が被災した従業員に対して、可能であれば仮住居を提供する。 		【様式：各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「資材対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
供給品の調達	・通常のルートからの調達が困難な場合、予め定めた代替ルート(業者や搬送方法)により調達する。		【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】 【様式 : 主要取引先リスト】
供給品の保管	・調達した供給品の保管に関して工場復旧までの一時保管先(倉庫)を確保する		【様式 : 主要取引先リスト】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「設備対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
建屋の修理・一時移転	<ul style="list-style-type: none"> ・建屋が損傷した場合、その修理を建設会社等に要請する(目標復旧時間に間に合うスケジュールで)。 ・建屋の早期復旧が困難な場合は、他の場所に移転する。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】 【様式 : 主要取引先リスト】
生産機械の修理・調達	<ul style="list-style-type: none"> ・生産機械の修理・調達を専門メーカー等に要請する。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】 【様式 : 主要取引先リスト】
情報システムの回復	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン等ハードウェアの修理・調達を専門メーカー等に要請する。 ・ソフトウェアの破損は、予めバックアップしていたデータを用いて回復させる。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式 : 各業務の事業継続のための対応策(事前対応・緊急時対応)】 【様式 : 主要取引先リスト】
インフラの早期復旧	<ul style="list-style-type: none"> ・電力・ガス・水道のインフラ関係の早期復旧を各関係先に依頼する。 		<ul style="list-style-type: none"> 【様式 : 主要取引先リスト】
【備考】			

【手順書】 復旧活動「財務対応」

手順	具体的処理内容	担当者	参照資料
運転資金の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時発生後1ヶ月間、当面必要な運転資金を確保する。 ・銀行預金(積立金)を引き出す。 ・必要に応じて、地方自治体等の制度による緊急貸付を受ける。 		【様式】：緊急時資金繰り計画書】
決済不渡り対策	<ul style="list-style-type: none"> ・発行済みの手形が不渡りにならないよう、取引銀行等と調整する。 		【様式】：緊急時資金繰り計画書】
仕入支払い・給与支払い	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り、協力会社や納品業者等に対して過日分の支払いを行う。 ・できる限り、従業員に対して給料を支払う。 		【様式】：緊急時資金繰り計画書】
復旧資金の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・財務診断結果から、建物や生産機械の修理費用等、復旧に必要な費用を見積もる。 ・損害保険の支払いを受ける。 ・証券等の資産を売却する。 ・必要に応じて、政府系金融機関等から災害復旧貸付を受ける。 		【様式】：緊急時資金繰り計画書】
【備考】			